

19年度活動実績

【 通 年 事 業 】

◇NPO現場見学バスツアー			
定例バスツアー	毎月1回	12回	
オブショナルバスツアー	随時	17回	
◇NPOマネジメントセミナー	5月～2月第3金曜	10回	市民活動センター 会議室
◇理事会	奇数月第3木曜	12回	市民活動センター 会議室
◇市民活動センター運営会議	毎月第1水曜	12回	市民活動センター 会議室
◇NPOアドバイザー			
知多市アドバイザー	定例毎週水曜日、ほか随時	計47回	知多市市民活動センター
東海市アドバイザー	定例第4火曜日、ほか随時	計35回	東海市市民活動センター
一宮市アドバイザー	随時	計11回	一宮市
◇ホームヘルパー2級養成研修講座			
半田会場 春コース	5/19 ~ 9/22		NPO法人りんりん
日本福祉大学コースA	8/20 ~ 11/24		日本福祉大学/美浜校
知多会場 秋コース	10/2 ~ 2008.1/24		知多市市民活動センター
一宮会場コース	1/19 ~ 2008.4/26		NPO法人さんさんガーデン
日本福祉大学コースB	2/8 ~ 2008.5/24		日本福祉大学/美浜校
◇行動援護従業者養成研修講座	6/23 ~ 2008.2/3		知多市市民活動センター 他
◇ガイドヘルパー養成研修講座	9/18,19,20		日本福祉大学/美浜校
◇介護福祉士対策講座	10/6 ~ 2008.2/24		知多市市民活動センター
◇成年後見サポーター養成講座	4/19 ~ 5/31	6回	市民活動センター 会議室
◇成年後見サポーター養成講座 PART2	12/6 ~ 12/20	3回	市民活動センター 会議室
◇すっきりわかるNPO入門講座	8/3 ~ 2008.3/7	8回	市民活動センター 会議室
◇運動クラブ「ふいっと」	毎月1回(8月、2月休み)	10回	知多市民体育館
◇知多市団塊世代キャリア活用事業「大人の学校」	4/10 ~ 2008.3/10		市民活動センター 会議室
◇NPOと行政の協議の場づくり	10/8 ~ 2008.2/18	11回	あいちNPO交流プラザ
◇一宮市NPO講座「NPOサポーター養成講座」	9/15 ~ 11/18	6回	一宮市
◇大府市NPO講座「青春大学」	11/10 ~ 12/22	5回	大府市役所
◇あいちシルバーカレッジ 講師	5/21,6/13,22,7/13,1/22	5回	名古屋、豊橋、岡崎、一宮
◇起業支援ネット「コミュニティビジネス塾」講師	10/25,11/1,8,15,12/17	5回	福井、岡山
◇まちづくり研究会 講師	2/14,20,27		扶桑町
◇名古屋短期大学講義「ボランティアワーク」	前期(4/13~7/6)第2・第4金曜日、8/31		名古屋短期大学
◇日本福祉大学講義「ボランティア論」	後期(9/25~2008.1/8)毎週火曜日		日本福祉大学/美浜校

4月

- 3日 スタッフミーティング
7日 瀬戸市審査会 <瀬戸市>
11日 日福ヘルパーオリエンテーション <日福/美浜>
日福教育実習研修センター情報コーナー設置について <日福/美浜>
社会活動推進課課長来所
知多市まちづくり条例検討委員会 <市民活動センター会議室>
12日 あいち福祉ネット理事会
東海市市民協働課訪問 「協働の署名」 <東海市役所>
13日 中高生の居場所づくりセミナー
14日 NPO法人あっとわん理事会
16日 大府市役所訪問 <大府市役所>
17日 内閣府都市再生本部企画案打ち合わせ
20日 NPOアドバイザープレゼン <あいちNPO交流プラザ>
23日 NPO法人だいいんの花 会計支援
あんだんて 会計支援
愛知県障害福祉課柴田氏訪問
「障害者保健福祉推進事業」について <愛知県西庁舎>
24日 障害者自立支援権利擁護部会(2市2町)
25日 県中間支援プレゼン <あいちNPO交流プラザ>
東海市審査会 <東海市>
27日 NPOと行政の協働に関する実務者会議
<あいちNPO交流プラザ>
春日井女性連盟 講師派遣「私の生き方とワークハラス」
<春日井市>
全国ボランティアフェスティバル実行委員会

5月

- 1日 「よってたもうれ八事」訪問 <名古屋市八事>
2日 日福講義 (柿本先生の講義内) <日福/美浜>
8日 監査 佐々木氏(ふれ愛)
スタッフミーティング
9日 AED設置予定施設の救急講習会 <知多市八幡出張所>
ブリザーブドフラワー教室 <Ada-coda>
東海市市民協働課来訪
10日 あいち福祉ネット理事会
知多市まちづくり条例検討委員会 <市民活動センター会議室>
11日 監査 山崎氏(絆)
12日 第1回明日の在宅医療・福祉を考える集い 参加
17日 第10回国際福祉健康産業展ウェルフェア2007準備
18~20日 第10回国際福祉健康産業展ウェルフェア2007
<ポートメッセなごや>
20日 NPO法人ふれ愛 総会
23日 バリアフリーの会「成年後見学習会」 <春日井市>
25日 センター火災訓練打ち合わせ <市民活動センター会議室>
総会・交流会 <市民活動センター会議室>
中高生居場所づくり事業審査会 <あいちNPO交流プラザ>
知多地域高齢者・障害者担当課長調整会議
七宝町講演 <七宝町>
NPO法人もやい 総会 10周年記念イベント <阿久比町>
27日 NPO法人りんりん 総会
28日 日福 実習センター情報誌の取材
成年後見運営適正委員会 <市民活動センター会議室>
29日 自立支援協議会 就労支援部会 <東海市>
30日 NPO法人だいいんの花 総会

6月

- 2日 認知症高齢者コミュニケーション支援機器研究会
3日 NPO法人あかり 総会
4日 知多市総務部長来訪 <市民活動センター会議室>
5日 スタッフミーティング
マルチメディア振興センター来所
NPO法人ゆいの会 総会
全国ボランティアフェスティバル打ち合わせ
9日 とよた「つなぎすと」講座 講師 <とよた市民活動センター>
9-10日 全国地域生活支援ネットワークフォーラム
10日 医療・保健・福祉ネットワークシンポジウム
12日 NPO法人ネットワーク大府 総会
13日 知多市議会事務局訪問
知多市まちづくり条例検討委員会 参加
14日 あいち福祉ネット理事会
16日 NPO法人絆 総会
17日 公益信託ぎふNPOはつらつファンド 活動報告会
19日 東海市助成審査
20日 権利擁護支援プラットフォーム 来所
NPO法人だいいんの花一周年記念 <NPO法人だいいんの花>
23日 公益信託ぎふNPOはつらつファンド 活動報告会 <岐阜県>
24日 NPO法人介護サービスさくら 総会
NPO法人ボランティアネイバーズ 総会
25日 全国ボランティアフェスティバル委員会 参加
26日 NPOと行政の協働に関する実務者会議
<あいちNPO交流プラザ>
27日 自立支援協議会
県新採2年目研修説明会
29日 東海市助成審査相談 <東海市>
30日 東海市活動助成審査

7月

- 2日 女性チャレンジネットワーク会議 <あいちNPO交流プラザ>
3日 行政訪問 武豊町・南知多町
4日 スタッフミーティング
5日 行政訪問 阿久比町・美浜町
10日 行政訪問 東浦町・大府市
11日 さわやか福祉財団の事業(10月)協力要請 <名古屋市社協>
12日 行政訪問 東海市
あいち福祉ネット理事会
13日 行政訪問 半田市
起業支援ネット「地域資源バンク」報告会 <名古屋>
18日 市民活動センター草刈
19日 成年後見5市5町調整会議 <知多市社会福祉協議会>
知多市まちづくり条例検討委員会
20日 行政訪問 知多市
21日 デンソーハートフルクラブ総会 <刈谷市>
22日 埼玉育成会研修 講師 <埼玉県>
23日 はっぴいわん研修 [7/23,30] <大府市>
24日 自立支援協議会 就労部会
25,26日 Ada-codaまつり <Ada-coda>
26日 全国ボランティアフェスティバル委員会
NPOと行政の協働ファシリテーター <あいちNPO交流プラザ>

8月

- 2日 行政訪問 常滑市
NPOと行政の協働に関する実務者会議
〈あいちNPO交流プラザ〉
- 3日 日進市あいあいの家訪問
〈日進市〉
- 4日 ぶらっとホーム研修会
〈市民活動センター会議室〉
- 5日 はっぴいわん研修
- 6日 ふれあいねっと中学生職場体験講師
行政訪問 常滑市福祉課
- 7日 スタッフミーティング
- 11~12日 NPOスタッフ必修研修
- 13~16日 夏季休業
- 14日 リーガルサポート 来訪
福祉フェスティバル調整会議
- 22日 成年後見5市5町部長会議
〈半田市 雁宿ホール〉
- 24日 広域連合 訪問
〈東海市〉
- 25日 パリアフリーの会 成年後見学習会
〈春日井〉
- 27日 なごやボランティア・NPOセンター職員来訪
あいち福祉ネットプロジェクト(自主検討委員会)
- 30日 市内NPOと社協行政の情報交流
- 31日 安心安全なまちづくりフォーラム
〈あいち健康プラザ〉

9月

- 1~2日 知多市ふれあいプラザ祭
〈ふれあいプラザ〉
- 3日 県女性のチャレンジ会議
地域包括セミナー実行委員会
〈名古屋市〉
- 4日 スタッフミーティング
- 6日 犬山しみんてい 訪問
- 13日 あいち福祉ネット理事会
- 14日 センター防災訓練
〈市民活動センター〉
豊田市生涯学習課講義
〈豊田市〉
就労移行関係者連絡調整会議
〈半田雁宿ホール〉
- 17日 公益信託ぎふNPOはつらつファンド 審査会
〈岐阜県〉
- 21日 NPOと行政の協働に関する実務者会議
〈あいちNPO交流プラザ〉
- 22~23日 全国ボランティアフェスティバル
〈美浜町〉
東海市まちづくり協働推進事業 意見交換会
〈東海市〉
自立支援協議会 就労支援作業部会
〈やまもも授産所〉
知多半島圏域保健医療福祉推進会議
〈半田雁宿ホール〉
- 26日 成年後見幹事会5市5町調整会議
〈市民活動センター会議室〉

10月

- 1日 スタッフミーティング
- 2日 愛知ネット大野さん訪問
- 4日 自立支援協議会 権利擁護部会
東海市まちづくり協働推進事業
〈東海市〉
- 9日 コミュニティビジネス 講演
〈福井県〉
- 10日 三好町職員研修 講師
「協働によるまちづくり推進管理職研修」
青少年の居場所視察
〈三好町〉
〈春日井市・犬山市〉
- 11日 あいち福祉ネット理事会
科学技術振興会研修会
- 12日 福祉フェスティバル調整会議
〈福祉活動センター〉
- 14日 厚労省荒川氏懇親会
地域包括セミナー実行委員会
[10/14,15]
- 16日 法務局の職員 来訪
- 17日 地域協働促進研修
厚労省荒川さん交流
〈一宮市〉
- 18日 ちたしん情報交換会 夢サポート助成団体
〈半田雁宿ホール〉
- 19日 地域文化センター館長 来訪
- 22日 成年後見幹事会
成年後見幹事会5市5町調整会議
〈半田市〉
〈半田市〉
- 24日 自立支援協議会
- 26日 県短期派遣研修説明会
〈あいちNPO交流プラザ〉
- 27~28日 福祉フェスティバル知多市産業祭り
- 30日 知多市総合ボランティアセンター打合せ

11月

- 1日 成年後見講演
〈西尾市〉
- 2日 地域協働促進研修
〈長久手町〉
- 5日 スタッフミーティング
- 9日 NPO研究会「社協とNPOの協働」
- 10日 パリアフリーの会「成年後見学習会」
〈春日井〉
- 11日 成年後見センター設立総会
〈半田市〉
- 13日 地域協働促進研修
〈知多市〉
- 14日 知多総研山本氏訪問
- 15日 あいち福祉ネット理事会
- 16日 KISSサイエンスの講座 参加
〈青少年会館〉
- 16~18日 「ネットワークづくり」講師
〈仙台市〉
- 19日 成年後見講演
地域包括セミナー実行委員会
〈東海市〉
- 20日 県班長研(コーディネーター)
- 21日 地域協働促進研修
長久手町地域協働計画策定委員について職員来訪
〈一色・吉良町〉
- 27日 自立支援協議会 就労支援部会
〈知多市福祉課〉
- 29日 中間支援ネットワークづくり会議

12月

- 1日 成年後見講演 <蒲郡市>
パブリック塾「支援センターの役割と課題」講師 <名古屋>
- 2日 ひかりのさと保護者会で講演
「ミッションについてもう一度見直す」
- 5日 地域協働促進研修 <田原市>
公益信託ぎふNPOはつらつファンド 運営委員会
<岐阜県民ふれあい会館>
来年度ヘルパー講座打ち合わせ <日福/美浜>
- 7日 生協福祉基金制度検討委員会
知多市NPOネットワーク会議
- 10日 市民講座「遺言」
- 11日 地域包括セミナーinなごや・パート2 <名古屋>
自立支援協議会 権利擁護部会
- 12日 スタッフミーティング
- 13日 知多市まちづくり条例検討委員会 <市民活動センター会議室>
あいち福祉ネット理事会
- 15日 公益信託ぎふNPOはつらつファンド 報告会 <岐阜県>
裁判所
- 18日 講演会「公共施設の市民運営」参加
<なごやボランティア・NPOセンター>
- 19日 成年後見講演 <三好町>
- 20日 長久手町地域協働計画策定委員会
- 21日 常務理事会
- 27日 自立支援協議会啓発事業
- 28日～ 年末・年始休業
1月6日

1月

- 7日 メディアス取材
- 8日 スタッフミーティング
- 10日 あいち福祉ネット理事会
- 11日 NPOと行政の協働に関する実務者会議
<あいちNPO交流プラザ>
- 16日 生協福祉基金制度検討委員会
自立支援協議会講演 <岡山県>
- 17日 日進市訪問（協働の進め方について市長・副市長を訪問）
理事会&懇親会 <市民活動センター会議室>
- 18日 県青少年「地域指導者養成研修」コーディネーター
知多市市民活動センター1周年記念「加藤哲夫氏」講演
- 20日 NPO法人はっぴいわん大府開所式 <大府市>
ケアコレネットフォーラム <ウィルあいち>
- 24日 知多市条例1周年
- 25日 知多市市民活動センター1周年記念事業
みんなが受けたい事業～NPO編～
- 29日 公益信託ぎふNPOはつらつファンド 運営委員会 <岐阜県>
- 31日 市民活動センター新年会

2月

- 1日 女性グループリーダー研修 <ウィルあいち>
- 4日 あいち協働ルールブック推進フォーラム
- 5日 スタッフミーティング
- 6日 相談業務
障がい者就職基礎講座 実習相談
- 7、8日 地域協同推進フォーラム（さわやか福祉財団研修） <東京>
- 7、8日 起業支援ネット全国サミット
7日 一宮NPO講座報告会 <一宮市>
8日 Ada-coda 視察
- 12日 自立支援協議会 権利擁護部会
- 14日 あいち福祉ネット理事会
自治研修所+NPO担当近藤さん来所
- 15日 マネジメントセミナー5市5町協働対話交流会
知多半島圏域保健医療福祉推進会議
- 16日 成年後見講談 <半田市>
一宮市市民活動支援センター情報交換会(福祉) <一宮市>
- 17日 三好町「市民が創るまちづくり」講師
- 20日 生協福祉基金制度検討委員会
成年後見調整会議 <半田市>
自立支援協議会
東海市まちづくり協働推進事業説明会
- 21日 平塚市「地域課題の発見」講師
「おやべ」富山育成会 成年後見説明会
- 22日 NPOと行政の協働に関する実務者会議
- 23日 モリコロ基金プレゼン審査会
- 25日 起業支援ネット福祉相談 [2/25.28]
プリザーブドフラワー教室 <Ada-coda>
- 27日 名短倉田先生来訪
- 28日 自立支援協議会 就労支援作業部会
県教委ヒヤリング
- 29日 パリアフリーの会 成年後見学習会 <銚子>
東海市ライフプランセミナー
企業とNPOの交流会 <岡崎市>

3月

- 1日 知多市体育協会法人化会議
- 2日 起業支援ネット「福祉起業講座」
高森町福祉の集い講演と調査報告
- 3日 スタッフミーティング
- 4日 文部省、関口さん訪問
- 7日 県短期派遣研修報告会 <あいちNPO交流プラザ>
- 8日 瀬戸助成金報告会 <瀬戸市>
- 9日 プリザーブドフラワー教室 <Ada-coda>
「NPO」岡崎フェスティバル <岡崎市>
- 10日 NPOと行政の協働に関する実務者会議
<あいちNPO交流プラザ>
- 13日 あいち福祉ネット理事会
- 14日 大口町アーダ・コーダ視察
- 15日 障がい者の相談支援と自立支援協議会 <東海市>
福祉たすけあいフォーラム(あいち福祉ネット)
- 18日 自立支援協議会 権利擁護部会
- 19日 日福教育開発室 鈴木氏来訪
- 22日 サポートちた親睦会
- 23日 ネットワークフォーラム(すけっとファミリー) <瑞穂区>
- 26日 「ボランティア活動と地域」デンソー・阿久比講演
- 28日 プリザーブドフラワー教室 <Ada-coda>
- 29日 生協福祉基金制度検討委員会
御嵩町視察

19 年度事業報告

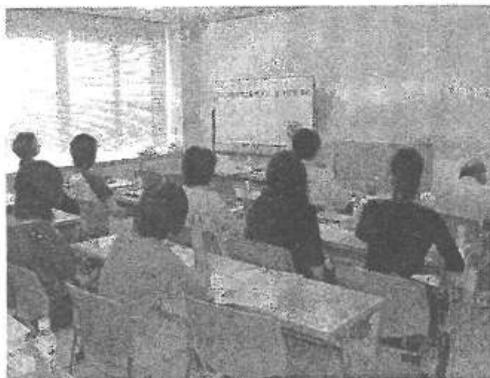


➤ 活動報告

➤ 事業報告一覽表(抜粋)

ヘルパー養成研修講座

ホームヘルパー2級養成研修講座



期間・場所 下記の表の通り

対象 ホームヘルパーの資格取得を目指す方

修了者 130人

従事者 2人

■ 目的 ■

安心と豊かさの実現できる地域福祉を担う人材育成、及び市民をはじめ、行政、企業の人々にNPOの理解と学びの場を提供する。

ヘルパー2級講座は、平成19年度は半田会場で1回、知多会場で1回、日本福祉大学美浜キャンパスで大学生対象2回(夏期、春期)、一宮会場で1回の計5回の講座を開催しました。

■ 講座スケジュール ■

場 所	日 程	受講者数	内 容
知多会場 (知多市民活動センター)	第1回 2007年4月14日～8月18日	中止	講義、演習 100時間 実習 4～5日
	第4回 2007年10月2日～2008年1月24日	一般21人	
半田会場 (NPO法人りんりん)	第2回 2007年5月19日～9月22日	一般17人	
日本福祉大学 美浜キャンパス	第3回 2007年8月20日～11月24日	大学生38人	
	第6回 2008年2月8日～5月24日	大学生39人	
一宮会場(NPO法人さん・さんガーデン)	第5回 2008年1月19日～4月26日	一般17人	

—参加者の声—

- ・講師の方が毎回違って、様々な実体験を聞かせてもらいながらの講座だったので楽しかった。
- ・ヘルパーのバイトをするために受講したが、自分が考えていたよりたくさんのお話を学びました。そして何よりヘルパー講座には「出会い」がありました。講座を通して友達・講師・利用者さん等にたくさんのお話を教えてもらえたと思います。

■□担当者のふりかえり□■

年度初めに知多と半田で講座を開催する予定でしたが、受講希望者が少なく初めて講座を中止しました。他の団体も同様にヘルパー受講希望者が少なく講座を中止するところも増えています。一方福祉現場では職員が不足して困っているようです。高齢者・障害者が地域で暮らすために、できるだけ多くの方にヘルパーの資格を取っていただき、高齢者・障害者を支える担い手になっていただくにはどうしたらいいか考えたいと思います。

ヘルパー講座担当 竹内美詠子

介護福祉士対策講座

期 間	2007年10月6日・20日、11月3日・18日、12月2日・15日 計6日(筆記対策) 2008年2月22日・23日・24日 計3日(実技対策)
場 所	知多市市民活動センター2階会議室 (筆記対策) 知多市市民活動センター2階会議室 (実技対策)
対 象	福祉系高等学校を卒業された方、3年以上介護等の業務に従事された方 NHK学園高等学校専攻を卒業された方
参加者数	6人(筆記対策)、 8人(実技対策)
従事者	1人

■□担当者のふりかえり□■

昨年度に比べ、今年度は受講生がとてま少なくなりました。働いている施設の職員不足のため受講する暇がないという人もいましたが、少ない分しっかり勉強できたようでした。皆さん合格したいという思いで真剣に講師の話聞いていました。

介護福祉士対策講座担当 竹内美詠子

ガイドヘルパー養成研修講座（視覚・全身性課程）

期 間	2007年9月18日・19日・20日
場 所	日本福祉大学/美浜キャンパス
対 象	ホームヘルパー2級以上の資格保持者及び修了予定者、介護福祉士
参加者数	20人
従事者	1人

—参加者の声—

学外でのアイマスク体験は初めてだったのですごく不安だった。ヘルプしてくれる人が「〇〇ありますか?」と言ってくれれば安心した。些細な事でも声かけすることが大事だと思った。

これまでの障害施策が大きく変わり、平成18年4月から障害者自立支援法が施行されました。ガイドヘルパーのサービスも地域生活支援事業の中に位置づけられ、各市町村で事業内容は異なってきますが、ホームヘルパー2級の資格の範囲で移動支援が可能になりました。ただ、実際のサービスを提供する上では、利用者の望む支援は「障害の理解」なくしてはかなわないと思われます。今年度もこれまで同様障害当事者の講師が、ガイドされる側の気持ちや体験談を映像も交えながら講義されたあと、演習として視覚障害者とガイドヘルプの疑似体験を行い、障害の理解を深められる講座となっています。

ガイドヘルパー養成研修講座（行動援護従業者養成研修課程）



期 間 2007年6月23日～2008年2月3日

場 所 知多市市民活動センター2階会議室

対 象 ホームヘルパー2級以上の資格保持者
及び介護福祉士、知的障害者外出介護
従業者養成研修課程修了者

参加者数 138人

従事者 1人

■ 目的 ■

行動援護は、障害者自立支援法において障害福祉サービスの一つとして明確に位置づけられ、知的障害者のみならず精神障害者を対象とした、より専門性の高いサービスに生まれ変わった。

この研修において、行動援護のサービスに従事する者の資質の向上を図ることにより、障害のある方々の地域生活を支援し、また、社会参加を実現する事を目的とする。

■ 講座スケジュール ■

日 程	会場	受講者数	内 容	講 師
第3回 6月23日・30日、7月7日	名古屋市	31人	<1日目> > 行動援護にかかる制度 およびサービスに関する講義 > 行動援護利用者の障害特性 と障害理解に関する講義 行動援護の事例検討(1)	<1日目> 戸枝陽基 (社会福祉法人 むそう理事長)
第4回 6月25日～7月19日	半田市	20人		
第5回 7月28日、8月5日・12日	知多市	26人	<2日目> > 行動援護の技術に関する講義 > 行動援護の事例検討(2) > 行動の理解の実際 (及びロールプレイ)	<2日目> 出口 晋 (NPO法人 ゆめじろう 理事長)
第6回 9月2日・15日・23日	名古屋市	14人		
第7回 11月7日、12月1日・9日	刈谷市	17人		
第8回 1月6日・20日、2月3日	一宮市	45人	<3日目> > 事例分析 > 事例分析検討	<3日目> 出口 晋

■ □担当者のふりかえり □ ■

昨年度に引き続き会員団体より開催の要望があり、3回企画できた。3日間の短期講座ということもあり、出前講座のように会場を県内に広げて行った。全国研修の講師でもあるNPO法人ゆめじろう理事長出口さんに毎回講義を依頼し、全国のプログラムに沿った内容で実施している。ひとつの事業所から複数の方が参加できると、事例検討・事例分析の手法を事業所内で共有でき、実践への効果も倍増！！事業所内研修に是非使って欲しい。講座を継続していくことで障害のある方の地域生活が充実していくと信じている。

ガイドヘルパー講座担当：五十嵐美代子

成年後見サポーター養成講座

財団法人ユニバーサル財団市民活動助成事業



期 間

2007年4月19日～5月31日

場 所

知多市市民活動センター2階 会議室

対 象

高齢者・障害者福祉について関心のある方、
成年後見制度について知りたい方、サポ
ーターたちの後見事業等について関わりたい方

参加者

43人

従事者

1人

制度にかかわる社会背景と法律、制度の中身とサポーターたちの後見業務の実態、今後の見通しなどについての講義と受講者の理解を深めるワークショップ

<講座内容>

日程	内容
4月19日(木)	高齢者・障害者の権利侵害の実態と権利擁護制度
4月26日(木)	成年後見制度をめぐる法律の仕組み
5月10日(木)	成年後見制度概論
5月17日(木)	財産管理と身上監護
5月24日(木)	後見人の実務
5月31日(木)	成年後見制度、今後の課題

<講師陣>

山田隆司 NPO法人東濃成年後見センター事務局長
中谷雄二 愛知県弁護士会弁護士
前本好江 西三河後見ネット代表
今井友乃 NPO法人地域福祉サポーターたち事務局長
戸枝陽基 社会福祉法人むそう理事長

☆参加者の声☆

- ・現場からの実例、事例を通じての講義は大変判りやすかった。この養成講座を通じてしっかり勉強少しでも相談業務に対応できればと思う。また、道具として制度や人を使うということが大事だと、なるほどと感じた。
- ・権利侵害がいろいろあると思っていたが、実例をたくさん聞いてびっくりしている。一人の人が生活していく上でいろいろな道具(医者・ヘルパー等)を上手に使っていきたい。又、後見制度がベストのものでないとおっしゃったのがとても印象に残っている。
- ・後見制度を利用できれば全てが解決するような幻想を無くすことが必要と理解できた。
- ・制度の法律の仕組みをととてもわかりやすく説明していただいてよかった。質問が様々な問題を提示していて、その解答が参考になった。制度のもつ良い点限界が少しずつ分かってきた。愛知県での利用が少ないのもまだ一般に知られていないことを表していると思った。
- ・老後に向かって自分の成年後見制度を利用したいと思った時どこへどのような方をお願いしたらよいか、また、個人後見、法人後見についてももっと知りたいと思いました。

成年後見サポーター養成講座 パート 2



期 間 2007年12月6日・13日・20日

会 場 知多市市民活動センター 会議室

対 象 高齢者・障害者福祉について関心のある方、成年後見制度について知りたい方、サポートちたの後見事業等について関わりたい方

参加者 27人

従事者 2人

高齢社会 NGO 連携協議会が「独立行政法人 福祉医療機構(高齢者・障害者福祉基金)」の助成によって実施する「市民後見人養成講座」の一貫として行いました。

制度にかかわる社会背景と法律、制度の中身とサポートちたの後見業務の実態、今後の見通しなどについての講義と受講者の理解を深めるワークショップ

<講座内容>

日程	内容
12月6日(木) 午前	基本的人権・導入理由と経緯・「契約の保障」
午後	「代理」・枠組み
12月13日(木) 午前	任意後見・委任代理・日常生活支援事業・遺言
午後	申立の方法・申立人の仕事・添付書類説明・相談機関の役目
12月20日(木) 午前	管理人の注意・方法管理・記録&報告・目録作成～演習
午後	身上看護上の一般的注意・身上看護項目・個別注意事項

*午前9:30~12:00 午後13:00~15:30

<講師陣>

今井友乃 NPO 法人地域福祉サポートちた事務局長

前本好江 西三河後見ネット代表

鈴木直幸 司法書士

☆参加者の声☆

- ・人権を尊重したものであることを理解できた。しかし、まだまだ広く知られていないことも分かった。
- ・今後の社会環境から、後見人制度は必要であることを実感した。
- ・一般論として知識を得るつもりで受講したが、自分の年齢のことがあり、自分自身の問題として考えたいと思った。
- ・成年後見制度に対する熱意を感じました。行政側の認知度の低さに驚きました。愛知県が特に低いのでしょうか。

■□担当者のふりかえり□■

この講座は何回やっても参加者は集まります。だんだん普通の人々の参加を感じます。いつの間にか身近な問題になってきている事に気付かされます。これを機会に、後見に関わる人が増える事を願います。
(今井友乃)

NPO人材育成

知多市団塊世代キャリア活用事業

地域を調べる・学ぶ・体験する 大人の学校

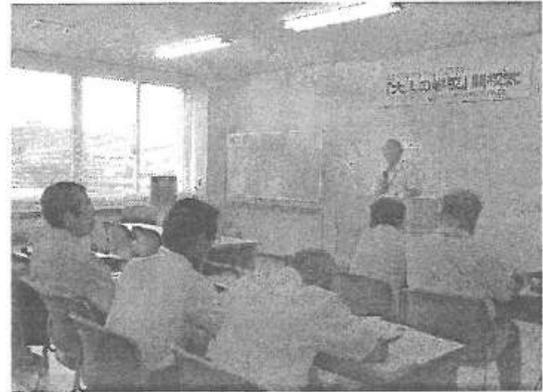
期 間 2007年7月8日～2008年3月10日

場 所 市民活動センター・会議室

対 象 団塊世代の方、大人の学校に興味のある方など、どなたでも

参加者 45人

従事者 2人



団塊世代の定年後の人生を豊かにするため、調べる・学ぶ・体験するをキーワードに情報を提供し、これからの時間の使い方や、このまちでどう暮らしていくのかを参加者と一緒に考え、各事業参加者による、自主的な活動や居場所（たまり場）作りを応援します。

①「大人の学校」開校式

日程：7月8日（日）

内容：講義『これからの時間をどう生きる？このまちでどう暮らす？』

大人のしゃべり場

②地域活動ガイドマップ作成

期間：平成19年7月～平成20年3月

内容：団塊の世代を中心とした年代層をマーケットとして位置づけ、これらの人たちに対してこれからの時間をどう過し、どう生きるか、このまちでどう暮らすのか等々、今後のライフスタイルを自ら想定し、見つけ出すのに役立つガイドマップを制作する。

③地域活動講座

◆オレ流生き方セミナー

日時	内容	講師
8/11（土）	「これからの人生設計」	鈴木盈宏 （トヨタボランティアセンター）
8/25（土）	ボランティア活動実践者からの話	伊藤勝稔、辻川勝利、深川芳孝 （ボランティア）

◆自助具製作スタッフ養成講座

期間：9/29（土）～11/18（日）

内容：傷害を知ろう！、ユニバーサルデザインのいろは、自助具製作体験、利用者との関わり方など

◆団塊クッキング教室

期間：9/8（土）～12/2（日）

内容：料理実践など

④インターンシップ (NPO 体験)

◆NPO 基礎講座

日 時	内 容
9/5 (水)	講義：地域の課題とNPO 今後ますます必要とされる市民の力について、市民互助型在宅福祉団体立ち上げ実践の経緯とその社会背景や地域の課題解決方法としてのNPOについて説明する
9/7 (金)	講義：NPOとNPO法人 NPOとは何か、NPO法の概要とNPO法人のミッション・活動実態などについて、3年間の愛知県NPOアドバイザーの経験をもとに具体的事例で説明する
9/12 (水)	講義：コミュニティビジネスとNPO 地域貢献事業を行うコミュニティビジネスの概念を伝え、NPO等立ち上げ支援実績をもとにそのしくみとマネジメント法を説明する



◆NPO 現場見学バスツアー

日程：9/19 (水)

見学先：NPO 法人ゆいの会、Ada-Coda、NPO 法人だいこんの花、プレーパーク

◆NPO 体験実習

期間：9/26 (水) ~ 11/28 (水)

内容：知多市内にある 11 の NPO 法人のうち、希望する NPO で 3 日間の体験実習

⑤学校祭

日程：1/27 (日)

内容：第 1 部 成果発表

大人の学校受講生が体験した学習成果を発表

第 2 部 トークセッション

テーマ「これからの時間をどう生きる？このまちでどう暮らす？」

第 3 部 講演会 (堀田力さん)

「自分をいかす、地域の中での生き方のヒント」



⑥「大人の学校」修了式

日程：3/10 (月)

内容：修了証授与、受講生の感想発表、懇親会

■□参加者の声□■

- ・ 記者として活動することにより、新しい人と出会えたことが何よりの収穫でした。(ガイドマップ作成)
- ・ 利用する方の立場に立って作る大切さが理解できた。(自助具製作スタッフ養成講座)
- ・ 自分の居場所を発見できた。(団塊クッキング講座)
- ・ ただ話を聞くだけでは理解できないことも、実際に NPO の活動現場を見て話を聞くことで、伝わってることが多く、NPO に対する理解を深める大変良い機会になった。(インターンシップ)
- ・ 参加者の仲間作りや居場所形成につながった。(学校全体を通して)

■□担当者のふりかえり□■

地域づくりに主体的にかかわる人材の発掘と育成を目的としたこの事業も、市民大学ちた塾と社会福祉協議会ボランティアセンターとの共同運営により、幅広い市民の参加を得ることができました。また、起業予定のある参加者が思いを形にしていこうという姿を具体的に示してくれたので周囲により影響を与え、こうした人を応援していこうという機運が生まれました。(岡本一美)

一宮市NPO講座「NPOサポーター養成講座」

(一宮市委託)



期 間 2007年9月15日～11月18日

場 所 ファッションデザインセンター
4階研修室

対 象 一宮市民

参加者 108名

従事者 3人

志民連いちのみやと地域福祉サポートちたの共同事業体（サポートいちのみや）で、企画運営をしました。新駅ビルに予定されている「市民活動支援センター」を仮想的に取り上げ、そことの関わり方や、そのあり方を考えながら、地域づくりに貢献するサポーターを育む講座です。

<講座内容>

日 程	テ ー マ	内 容	講 師
9月15日 (土)	NPOサポーターとは?	講座概要説明	今井友乃 (NPO 法人地域福祉 サポートちた事務局長)
	NPOが注目されるわけ	(講義) 社会の変化に対応し、新たな社会システムとして期待されるNPOの成り立ちと存在意義、その特性などを伝える	松下典子 (NPO 法人地域福祉 サポートちた代表理事)
9月29日 (土)	NPOとNPO法人	(講義) NPOの意味と基礎知識、NPO法の意義と法人格にういて伝え、活動の公益性、ボランティアとの関わり、自立性の高さを尊ぶ点などを解説する	岡本一美 (NPO 法人地域福祉 サポートちた事業開発局長)
	市内のNPO情報	(報告) 一宮市内のNPOの活動について、現市民活動支援センタースタッフからの報告	一宮市市民活動支援センター スタッフ
	NPOに関する課題 「活動をはじめるとつづけるために」	(グループワーク) 活動を始めるためのきっかけ、条件、個人活動や組織が活動を継続できるための条件とは?	岡本一美
10月13日 (土)	新一宮駅ビル構想と市民活動センター	(報告) 尾張一宮駅ビル建設計画について説明、新市民活動支援センターの未来図を描く	一宮市まちづくり課職員
	NPOを応援する市民活動センター	(講義) 刈谷市民ボランティア活動センターをモデルとしたセンター設置のねらいや、活動内容、センター活動への報告、今後の課題など	大野裕史 (NPO法人NPO愛知ネット)

10月27日 (土)	市民を巻き込むチカラ・巻き込まれるチカラ	(講義) NPOはヒトが財産。活動の成否は いかに多くの市民を巻き込めるかにかかっている。その算段と広報力・広報手段について豊富な実践事例から解説する	星野博 (志民連いちのみや理事長)
	ワークショップ 「マイ活動プランを立てよう①」	(グループワーク) 自分のきになる地域の課題について、意見交換をしながらその原因を探り当て、活動を起すポイントを見極める (個人ワーク) グループワークで行なった課題を解決するための理念設定、未来社会像を描く	星野博 今井友乃
11月3日 (土)	ワークショップ 「マイ活動プランを立てよう②・③」	(個人ワーク) 未来予測シートを使いながら、理想の未来デザインを考える 経営資源の棚卸シートを使い、それを基に何ができるか、多面的視野からの分析	星野博 今井友乃
11月18日 (日)	活動プラン発表会	宮前三八市広場イベントでプランを発表。これから始まる市民活動や新市民活動支援センターへのかかわりについて、意見表明・情報交換	星野博

■□ 発表会で出されたプラン □■

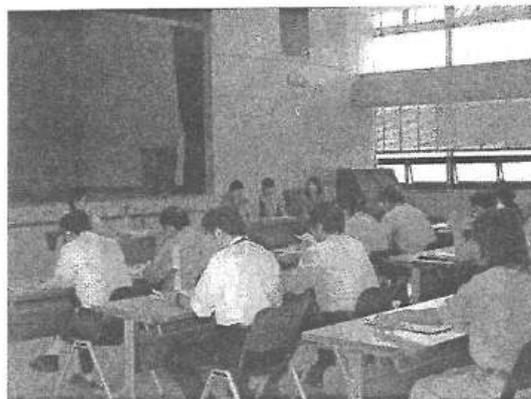
- ・子どもの理科離れを防ぐために、NPOを立ち上げ、科学に触れることができ、かつ環境教育をすることができる研究所を立ち上げたい。(環境グループ)
- ・郊外の大型ショッピングセンターに負けないような、魅力的な商店街作り、きれいな街並みを作り、市民の集まる街づくりをしていきたい。(環境グループ)
- ・子育てにお父さんが積極的に参加 → 小学校での父親の会・父親が学校で自分の仕事について出前授業等(子どもグループ)
- ・モラルの低下、隣人との関係の希薄化から社会に対する不安が広がっているため、隣人との関係を築き、地域の連帯感を高めることで犯罪の少ない開かれた地域づくりを行う。(つながりグループ)
- ・あいさつをきっかけにして自分を知ってもらい、相手を認めることで、地域に明るいたまり場を作っていく。(つながりグループ)
- ・自閉症、ADHD(多動性・衝動性優勢型)等の病気を正しく理解してもらうために、ペアレントトレーナーのトレーニングができるトレーナーを養成する。(NPO法人 Well Being)
- ・子どもたちのそれぞれの脳にあった付き合い方ができる親や支援者(大人)を育てたい。(NPO法人 Well Being)

■□ 担当者のふりかえり □■

一宮市民活動支援センターでのNPOアドバイザー事業と関連付けながら、地域貢献の活動を行う人を発掘し、その活動を応援するための講座を行いました。一宮では、今子どもに関する活動が活発化しています。なかでも障害のある子を中心にした野球クラブの活動を始めたWell Beingは、地域の大人たちの意識を変えています。20年度も自治基本条例、1%税制など新施策が目白押しの一宮市です。(岡本)

地域協働促進事業

(愛知県委託)



日 程	2007年10月～12月
場 所	一宮市、長久手町、知多市、 一色町・吉良町、田原市
対 象	下記参照
参加者	206人
従事者	2人

<目的>

今後の地域協働推進にあたり、協働相手の一つであるNPOについての知識を深め、地縁組織との関わり等を含め、協働の意義と必要性を理解し、職務に役立てていただくよう研修を実施する。

<研修日程>

	日 程	場 所	対 象	参加者
一宮市	10月17日	西尾市生涯学習センター 6階大ホール	特にクラスは問わない	55人
長久手町	11月2日	学習室1・2	各課1～2名 若手職員と部課長クラス	40人
知多市	11月13日	知多市勤労文化会館 会議室5	主に主査・主幹等の職員 (一部若手職員の参加あり)	27人
一色町 吉良町	11月21日	一色町公民館3階	総務部職員	36人
田原市	12月5日	田原市役所南庁舎 6階講堂	主に協働の実務担当	48人

<研修プログラム(一宮市)>

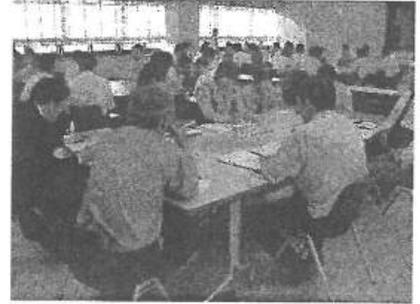
時間	形式	テーマ	担当
13:30～	あいさつ		梁嶋利道(一宮市副市長) 市原兼久(県社会活動推進課課長補佐)
13:40～	講義	協働の意義と必要性	松下典子(地域福祉サポートちた代表理事)
		NPOの基礎	今井友乃(地域福祉サポートちた事務局長)
休 憩			
14:50～	トークセッション	このまちのNPO	星野博(NPO法人志民連いちのみや) 井浪典子(NPO法人ふれあいサロン・ さんさんガーデン) 松尾美佐(NPO法人Well-Being) コーディネート 今井友乃
15:35～	意見交換	協働Q&A	参加者と各NPO関係者
16:25～	まとめ		今井友乃

※長久手町、知多市、一色町・吉良町、田原市も同様に研修を行いました。

＜参加者の感想＞

■□ 一宮市 □■

- ・一宮市は知多の自治体に比べて NPO が少ないとのことですが、このような研修を通して NPO に対する理解を深められれば、活動がしやすい環境が整い、より一層の地域社会サービス向上につながると思いました。
- ・こういった研修を職員・市民にもっと広げると良いと思う。
- ・今後民間の力を得ていくことは大切なことで、より必要になってくると感じた。



■□ 長久手町 □■

- ・NPO とかボランティアとの関わりを考えるのは大変そうで敬遠していましたが、これからはそうも言っていられないんだなと思いました。
- ・独自でやるほうが簡単だが、協力する、していくことが大切だと感じた。
- ・キーパーソンを育てるという考え方は今まで自分の中になかった。
- ・福祉系の NPO であるサポートちたが、中間支援の NPO としても活動しているという活動の広がり、NPO の成熟に驚きを感じました。

■□ 知多市 □■

- ・根本にあるのは「人のためになりたい」。それを行動におこす理由とその手段に違いがあるものの、協力できることがあると知ることができました。
- ・行政の手の届かない部分を担っていただきたい。
- ・行政として施策を推進するときに、NPO の方と情報交換・意見交換の必要性・大事さを感じました。

■□ 一色町・吉良町 □■

- ・なんでも役場がするのではなく、住民が自ら動くということには意識改革が必要だと思いました。このような研修を職員みんなが受講し、職員の意識を変えることも大切だと思いました。
- ・一色町はとても活性化しているようには見えなくて、このような活動をしている人たちがいることはとてもうれしく思えた。
- ・実際活動している方々は NPO だとか意識していなくて、地域のために何かしたいという想いから活動されている。そういう想いに対して、行政ができることを提供していければよいと思った。



■□ 田原市 □■

- ・NPO・ボランティアが無償という意識があったが、対価・感謝が必要ということが理解できた。
- ・地域で活動する NPO だからこそ、いろいろな情報を持っている。それを行政は活用しなきゃ損だと思いました。市民が育つということはまちが活性化され、それがまちづくりにつながる。
- ・NPO は「ボランティア団体」が法人格を持ったものとの認識だったのが、事業展開をし、業務内容によっては企業と同等に委託する相手先と見ることができるようになった。「公平」「公正」な体制ができるといいと思った。

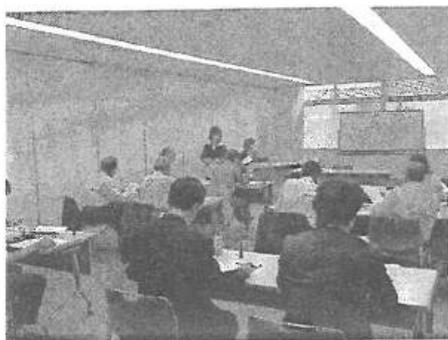
■□ 担当者のふりかえり □■

五会場で行ってきた行政職員研修は、それぞれの地域特性があるものの、協働あるいは NPO に対する理解度に大きな差はありませんでしたが、とくに企画案の対象（若手の職員）に絞った知多市では、アンケート結果も非常に良い状況でした。いずれも地域の NPO の事例発表が職員の理解度を進め、協働への意欲につながり、現場や実態が大切であることを実感しています。サポートちたは、つなぎ役、黒子役に徹することができました。

(岡本一美)

大府市NPO講座「青春大学」

(大府市委託)



期 間	2007年11月10日～12月22日
場 所	大府市役所
対 象	団塊の世代の方々及び女性
参加者	8名
従事者	3人

<プログラム>

日にち	時間	内 容	講 師
第1回 11月10日		ステップ1 あなたは気持ちよくこのまちでくらしていますか？	
	13:00～14:30	講座の概要説明	
		講義 「これからの地域と私たちの役割」	松下典子 (NPO 法人地域福祉サポートちた代表理事)
14:40～16:00	自己紹介ワークショップ 「これからの地域と私たちの役割」	岡本一美 (NPO 法人地域福祉サポートちた 事業開発局長)	
第2回 11月24日		ステップ2 わたしたちが居心地よく暮すには？	
	13:00～13:30	大府市ってどんなまち？	大府市役所職員
	13:30～14:20	講義 「住み慣れた地域で最後まで」	矢澤久子 (NPO 法人ネットワーク大府理事長)
14:30～16:00	原因分析ワークショップ 「わたしの気になること」	今井友乃 (NPO 法人地域福祉サポートちた事務局長)	
第3回 12月8日		ステップ3 現場から学ぶ NPO 見学バスツアー	
	10:00～16:00	知多半島内の NPO を見学	案内：松下典子
第4回 12月15日		ステップ4 まちの未来を考える	
	13:00～14:30	資源探しワークショップ 「見学団体から学んだこと」	今井友乃
14:40～16:00	未来予測ワークショップ 「明るい未来を実現するために」		
第5回 12月22日		ステップ5 まずは自分のやれることから	
	13:00～14:00	講義 「活動の始め方、私の場合」	各務武 (NPO 法人てすりなごや代表)
	14:00～16:00	資源棚卸ワークショップ 「できることから始めるわたしの活動プラン」	今井友乃

■□ 参加者の声 □■

- ・大府市も協働により具体的に取り組んできて、市民の活性化の掘り起こしを始めてもらえたということに気づいた。
- ・まず身の回りからふりかえり、あいさつ、人と人とのつながりを大切にしながら、許される限り、地域への行事・講座に参加して、自分のしたいこと、できることを発揮したいです。
- ・自分に合ったNPOがあれば参加してみたい。
- ・毎回講座を受けるたびに新鮮な気持ちになった。
- ・まだまだ扉をくぐったところなので、ゆっくりボランティアに取り組んでみたい。

「NPO現場見学バスツアー」(12/8)

タイムスケジュール

時間	見学先	内容
10:00	大府市役所出発	
10:45~11:15	ふれあい・生きがい・助け合いの会 はっぴいわん	団体説明
11:45~13:15	NPO 法人 もやい	昼食・団体説明
13:45~14:15	NPO 法人 ゆいの会	団体説明
14:25~15:30	知多市市民活動センター	ワークショップ
16:00	大府市役所到着	

◆ バスツアー参加者の声 ◆

- ・地域活動としての歴史を感じその多彩なメニューと中身に裏打ちされた活動が素晴らしい。
- ・市民の主体的なふれあいの場が実践されていて、大変いいなと感じた。
- ・行政と市民の主体的活動のすみわけ、役割について勉強したい。
- ・子どもを対象とした活動があっほつとした。地域参加型のボランティア活動で幅広い活動があった。
- ・代表の強力なリーダーシップにより、その協力者がいて、みなが集まってきている活動が素晴らしい。



■□ 担当者のふりかえり □■

初回の担当課職員との他己紹介を通じて、市民としての責任や自覚に気づいていった素直な参加者たちが、これから大府のまちでどんな活動を生み出してってくれるか楽しみです。協働推進施策と同時に、こうした市民育成の仕掛けも地方自治体には必要です。(今井友乃)

NPO現場見学バスツアー

通常バスツアー



日程	2007年4月～2008年3月 第4火・木（全12回）
場所	下記の見学先一覧のうち1回に 4～5団体訪問する
対象	NPOに興味・関心のある方
参加者	118人 [月平均 9.8人]

NPO現場見学バスツアーでは、知多半島にあるNPOの現場を参加者自体の目で見て、聴いて、感じてもらう事を目的としています。下記の見学先一覧の中にある会員団体の中からだいたい4～5団体を毎回見学させていただいています。

<年間スケジュール>

NO	日程	参加者数
1	4月24日(火)	11人
2	5月24日(木)	7人
3	6月26日(火)	20人
4	7月26日(木)	8人
5	8月23日(木)	8人
6	9月25日(火)	7人
7	10月25日(木)	23人
8	11月22日(木)	9人
9	12月20日(木)	7人
10	1月22日(火)	8人
11	2月21日(木)	9人
12	3月25日(火)	1人

見学先一覧

- NPO法人ネットワーク大府 [大府市]
・追分デイサービスセンター
- NPO法人ゆいの会 [知多市]
- NPO法人りんりん [半田市]
- NPO法人もやい [阿久比町]
- NPO法人あかり [常滑市]
- NPO法人ふわり [半田市]
・喫茶なちゆ
- 社会福祉法人むそう [半田市]
・知的障害者通所授産施設アートスクウェア
- ふれ愛・生きがい・助け合いの会
はっぴいわん・はっぴいひろば[常滑市]
- NPO法人絆 [東浦町]
- NPO法人ゆめじろう [武豊町]
- NPO法人菜の花 [半田市]
- NPO法人ひだまり [半田市]
- NPO法人ぱお [半田市]

参加者の感想(アンケートより)

- ◇ 現場を見ることでNPOの方々の熱意やあたたかい雰囲気を感じました。地域の中でこのような活動はとても必要だし、求められていることだと思う。
- ◇ どの組織の方も立ち上げの大変さを熱心にお話いただいた。行政がNPOを立ち上げる時に手伝えることは多々あると感じた。組織の立ち上げが、NPOを始めるにあたりまず1つの大きな壁だと感じた。
- ◇ 各団体とも楽しみながら活動しているのが印象として残った。地域・利用者のニーズに

オプションバスツアー

<年間スケジュール>

日程	団体	参加者
5/22	三好町職員	20人
7/5	〃	20人
7/17	豊明市幹部管理職員	25人
7/18	〃	24人
8/1	県民生活部長	8人
9/18	まちの達人受講者	25人
9/19	大人の学校	15人
9/20	まちの達人受講者	24人
9/21	〃	26人
9/27	〃	25人
9/27	大府市職員	20人
10/21	NPO 法人住まいづくりの会	8人
11/22	愛知県市町村振興協会研修センター	23人
11/29	福井市手をつなぐ育成会	13人
11/30	〃	12人
12/25	愛知県幹部職員	9人
3/12	日本福祉大学教職員	17人

左記のような委託バスツアーも開催しました。これは、みなさまのご要望にお応えし、別注で企画するツアーで人数によっては普通車で、また遠方からのバスに同乗しご案内するものなど、臨機応変に対応するツアーです。サポートちたの研修やイベントに組み込んだものもあれば、他の組織が企画した研修のプログラムの一つとしてバスツアーを利用していただくこともあり、これから何かを始めようと思っている方々の背中を押す力となっているようです。

今年は遠方からも申し込みがあり、多くの人に参加いただきました。

参加者の感想（アンケートより）

- ◇ 自分たちで行動を起こす。求めているだけでは駄目だと、スタッフの方を見て思いました。
- ◇ 自分の住む地域でも見学した団体のようなグループがどのくらいあるのか把握してみたいと思った。
- ◇ 実際に活動されている“現場”を見て、NPOと地域の関わりが強さを感じました。そしてこの地域の“地域力”に驚かされました。
- ◇ 普段縁のないところへ見学させていただいて、NPOの方々が熱心に活動してくださるおかげで地域の方は安心して暮らせるということを知りました。

■□担当者のふりかえり■□

NPO現場見学バスツアーは今年度で70回を超えました。これだけ長く続くというのはとてもすごいことで、これもサポートちたを支えてくださる皆様のおかげだと思っております。ありがとうございます。バスツアーに参加していただいた方の感想を読ませていただくと、何かを感じてもらっていることが分かります。また、その中でも、もっとこうしたいという感想もいただきました。来年度も今年度よりさらに皆様の要望に答えられるようにしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。目指せ100回！！

(大塚めぐみ)

行政職員 NPO 現場体験研修

NPO 短期派遣研修（愛知県職員）

【目的】職員を NPO に派遣し、実際に NPO 活動に従事させることによって、NPO に関する理解を深めるとともに、NPO と行政の相互理解を図り、今後の NPO と行政の協働を促進する。

期 間 2007 年 11 月 22 日～12 月 21 日うち 7 日間

場 所 知多市市民活動センター

対 象 愛知県職員 統計課 1 人



NPO 現場見学バスツアー参加

< 研修内容 >

- NPO 現場見学ツアー参加
- 地域協働促進事業参加
- NPO 現場体験
- 講座の運営補助
- 報告書作成
- 事務所内部事務など

NPO 現場体験型研修（愛知県職員）

【目的】NPO 活動の背景にある社会問題を捉え、NPO についての理解を深めることで、県民との協働の必要性を理解するとともに、県民の視点に立った行政運営への意識を高める。

期 間 2007 年 7 月 17 日～2008 年 1 月 31 日うち 9 日間ずつ

場 所 知多市市民活動センター

対 象 愛知県職員 12 人



NPO 現場体験

NPO 現場体験型研修（大府市職員）

【目的】協働のパートナーとしての NPO について理解を深め、研修での経験を市行政との協働促進に役立てる。また、行政内部では習得しがたい実践的な感覚や発想、広い視野を身に付けさせ、職員の意識改革を進め、市民感覚、改革意欲等を持った職員を養成する。

期 間 2007 年 9 月 15 日～10 月 2 日うち 10 日間

場 所 知多市市民活動センター

対 象 市民協働部生活安全課 交通防犯係 1 人

NPOインターンシップ

【目的】NPOの活動に関心を持つ学生に業務体験の機会を提供し、若者のNPOへの理解を深めると共に、NPOで活躍する人材の育成を行う

日本福祉大学

期 間 2007年9月4日～9月20日うち10日間

場 所 知多市市民活動センター

対 象 経営学部 1人



名短学生によるはっぴいわん大府の取材

名古屋短期大学

期 間 2008年2月18日～3月14日うち10日間ずつ

場 所 知多市市民活動センター

対 象 現代教養学科 3人

< 研修内容 >

- > NPO 現場見学ツアー参加
- > 人材養成事業の業務補助
- > 市民活動支援事業実習
- > NPO 現場体験
- > 事務所内部事務など

◆◇ 研修生の感想 ◇◆

< 県職員 >

- ◇ 今回の研修では単に福祉というだけではなく、地域に根ざした福祉の重要性ということを改めて考えさせられた。NPOは地域の間人同士をつなげるひとつのツールになっているのではないだろうか。
- ◇ 今回のように実際に活動現場に身をおく研修では、それまでの認識にとらわれずに新しい考え方や価値観を吸収することができ、新しい人との出会いを通して県民の目線を理解することができると感じました。

< 大学生 >

- ◇ 何かやりたい、なりたいという思いや夢は思っているだけでは、叶えもせず実現すらしめない。想いを形にし、行動するからこそ道は見えてくるということを松下さんから教わりました。これからの私の教訓になると思います。
- ◇ 現場見学バスツアーでは、実際に目で見て聞くことができ、地域の方たちが協力しているからこそ成り立っていることを感じたり、NPOについての知識が増えました。

■□ 担当者のふりかえり □■

7月からの2年目県職員の研修では、毎月2～3名の20代男女を受け入れ、随分事務所の中が若返り明るい雰囲気になった。バスツアーや福祉NPOでの1日実習は、現場の実際を肌で感じてもらえ好評であった。研修後も事務所に立ち寄ってくれたり、親睦会にも参加してくれ、またひとつサポートちたのネットワークが広がったようだ。

(五十嵐美代子)

NPOマネジメントセミナー

期 間 2007年5月～2008年2月うち10回

場 所 知多市市民活動センター

対 象 どなたでも

テーマ 現場から学ぶ行政とNPOの協働

参加者 延べ117人

従事者 2人



NO	日程	内容
1	5月19日(金)	協働の時代を検証する 講師: 松下典子 (NPO 法人地域福祉サポートちた 代表理事)
2	6月15日(金)	老舗団体ふれ愛の足跡 講師: 佐々木幸雄 (NPO 法人東海市在宅家事援助の会ふれ愛 理事長)
3	7月20日(金)	りんりんと岩滑地区 講師: 村上真喜子 (NPO 法人りんりん 理事長)
4	8月17日(金)	絆のチームワーク 講師: 山崎紀恵子 (NPO 法人絆 代表)
5	9月21日(金)	福祉と防災で地域連携 講師: 安井洋子 (NPO 法人もやい 代表)
6	10月19日(金)	武豊町との協働 講師: 出口晋 (NPO 法人ゆめじろう 理事長)
7	11月16日(金)	地域の年長者の巻き込み方 講師: 加藤恵 (社会福祉法人むそう 生活支援センター長)
8	12月21日(金)	多機能ホームいしがせの運営 講師: 矢澤久子 (NPO 法人ネットワーク大府 理事長)
9	1月18日(金)	歴史ある大野町の名物食堂 講師: 久保田久代 (はっぴいわん 代表)
10	2月15日(金)	「新たな公」を生む協働 講師: 松下典子

■□担当者のふりかえり□■

90年代、福祉NPOの活動を始めた先駆者たちの動機は共通するものがあり、NPOの原点を改めて気付かされました。組織のマネジメントに必要な「ひと・もの・かね・情報」をキーワードにその後の経緯や今考えていることを語っていただいた。それぞれの現場で点となり線となつてつながる関係が、今行政とNPOの協働という形にもなっているように思った。福祉の人材確保の問題も協働で取り組めればと感じた。(五十嵐美代子)

すっきりわかるNPO入門講座

日程 昼の部：2007年8月3日・10月5日・12月7日、2008年2月1日
夜の部：2007年9月7日・11月2日、2008年1月11日・3月7日

場所 知多市市民活動センター・会議室2

対象 どなたでも

参加者 9人

従事者 3人

「NPOのわかりにくさ」を解きほぐし、これからの明るい未来社会を描くために私たちができることを考えあうセミナーです。

「ボランティアしたい」「地域活動を盛り上げたい」「活動の悩みを分かち合いたい」「団体を立ち上げたい」「法人化を検討したい」「組織運営を向上させたい」などお考えのみなさんとNPOをテーマにいろいろな切り口で私たちの社会をよりよくする方策を一緒に考えていきます。

<内容> 昼の部

日程	講座内容	講師
8月3日(金)	非営利なのに有料なの	NPO法人地域福祉サポートちた 岡本一美
10月5日(金)	ワークショップ手法を学ぶ	クレセントワークス 小山田奈央
12月7日(金)	コミュニティビジネスって何?	NPO法人起業支援ネット 久野美奈子
2月1日(金)	広報の作り方	NPO法人ぼらみみより情報局 織田元樹

夜の部

日程	講座内容	講師
9月7日(金)	NPOの作り方	NPO法人地域福祉サポートちた
11月2日(金)	NPOのミッションとは?	〃
1月11日(金)	NPOとボランティア	〃
3月7日(金)	NPOとはもう一つの役所	〃

＝参加者の声＝

- ・ 普段チラシや情報誌を作成する上で自分が心がけていること、実行していることが間違っていなかったと気づき、自身を持つことができました。
- ・ 講座の内容が仕事のすべてに生かせると思いました。参加できてよかったです。

■□担当者のふりかえり□■

何かしたい、NPOってなんだ?という一般市民から、関わる任意団体の法人化を考える人まで多様な参加がありました。気持ちのある人には、とことん支援するサポートちたです。講座参加をきっかけにしてもらいたいです。(今井友乃)

会報発行



期 間	通年 年6回 (5,7,9,11,1,3月)
場 所	知多市市民活動センター
対 象	会員、愛知県内の福祉系 NPO、 行政、社協他
タイトル	SUPPORT NEWS
従事者	2人

地域福祉サポートちたの事業報告・案内のほか、広く福祉・NPO・市民活動情報等を届けることを目的にA4・4ページ立てで隔月発行。

NPOと行政の意見交換会

期 間	年1回
場 所	知多市市民活動センター2階会議室
対 象	NPO 従事者・行政職員
参加者	16人
従事者	2人



知多半島5市5町で展開されている協働の情報を共有し、自身の町・自身の活動に生かすことを目的に開催する。今年度は、NPO マネジメントセミナー最終回（第10回）と抱き合わせ、通常の時間を1時間拡大して「NPOと行政の協働について」協議の場を設けた。

<参加団体>

行政		NPO法人	
東海市総務部市民協働課	阿久比町総務部総務課	もやい	あゆみ
半田市市民経済部市民交流センター	美浜町役場厚生部民生課	絆	ふれ愛
知多市企画部市民活動推進課	南知多町役場福祉環境課	だいこんの花	トピア
大府市市民協働部協働促進課	常滑市企画部秘書広報課	ネットワーク大府	

WEBサイト管理

日程 月に4~5回の更新

場所 地域福祉サポートちた

対象 一般

掲載情報

- ・おすすめ情報
- ・団体概要



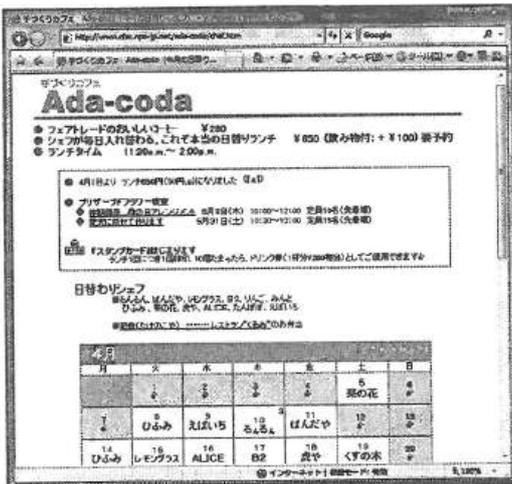
トップページ



ホームヘルパー2級養成講座のページ

- 設立経緯
- 定款
- 事業内容
- 事業報告
- 理事&監事&スタッフ
- 会員募集
- 会員団体
- 他

- ・サポートちた主催各種講座案内
- ・NPO 現場見学バスツアー
- ・掲示板
- ・リンク集
- ・Ada-coda ワンデイシェフ表



Ada-coda 日替わりシェフ表

累計アクセス数 69,685 (2008年5月1日現在)

従事者 1人

サポートちたの事業案内、報告、概要などをWEBサイトにて情報発信中。掲示板を使った双方向的なコンテンツも展開中です。

■□ 担当者のふりかえり □■

もっと見やすく、もっと分かりやすく、間違いのないページ、もう一度立ち寄りたくなるページを考えて更新をしていますが、訪問者の反応が直接は見えないので、本当に役に立っているのか不安になります。そんな時、「ホームページを見たんですけど…」というような問いあわせをいただくと、「あっ、見てくれている！」と、うれしくなります。

(久田富二子)

NPOと行政の協議の場づくり事業

(愛知県・岡崎市・日進市・ボランティアネイバーズとの実行委員会：愛知県負担金事業)



期 間 2007年10月3日～2008年2月18日

場 所 あいちNPO交流プラザ

参加者 NPO関係者：4人 行政職員：4人

従事者 2人

NPO、行政の関係者等が地域社会における特定の課題について実際に協議する場を設け、その協議を振り返りながら、運営上の問題点等を整理し、適正な設置・運営方法（課題設定方法、参加者選定方法、議論運営方法、情報公開、結果取りまとめ方法等）を検討し、運営のポイントを「NPOと行政の協議の場づくり基本ガイドブック」としてまとめました。

◆テーマ1：地域活動担い手の育成

(公共施設を活用した人材の育成・出会い・発掘の仕組みづくり)

回	日 程	内 容
1	10月3日(水)	課題についてNPO、行政互いの現場の現状と問題点を理解し、今後協議していく論点を共有する。
2	10月31日(水)	指定管理運営の事例報告とその他の事例検討、解決方策の基本認識(育成する人間像)を共有する。
3	11月30日(金)	現場を活用した育成手段2つの具体的取り組みと役割分担。
4	12月26日(水)	2つの方策について協議の姿の明確化とタイムライン、成果指標について協議。
5	1月31日(木)	人材育成の評価のあり方の検討と計画の完成、協議のふりかえり。

◆テーマ2：孤独死防止

日程：9月21日(金)、10月26日(金)、11月29日(木)、12月18日(火)

1月30日(水)、2月18日(月)

内容：テーマ1と同様に行いました。

■□担当者のふりかえり□■

実験的事業と言われていたものの、始めてみると??の連続。2つの協議の場が終了した後、ガイドブックにまとめ始めて見えてきたことがたくさんあります。公募型協働提案事業についての協議の場や1回限りの意見交換の場はありましたが、事業になるのかならないのかも明確でない時点から、NPOと行政が1つのテーマで数回の協議を重ねるといことは、これまでなかったことです。これは、テーマをきっかけに両者が地域ビジョンを描く、つまり理想の社会像を共有することにつながるんだと思っています。

(岡本一美)

2市2町自立支援協議会啓発フォーラム



期 間	2008年3月15日
場 所	東海市しあわせ村 多目的ホール
対 象	地域で活躍されている民生委員・保護司、 一般の方どなたでも。
参加者	160名
従事者	2人

障害者の地域生活の相談を持ち込める場として、民生委員・保護士はじめ地域の人々に地域自立支援協議会を活用してもらうための普及啓発を行う。

タイムスケジュール

時間	内容	出演者
13:00	開会あいさつ	
13:10~14:10	基調講演 『累犯障がい者はなぜ生まれるか』	講師：山本讓司 (作家)
14:10~14:30	報告 『相談支援事業と地域自立支援協議会』	清水剛一 (厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課相談支援専門官)
〇〇〇 休憩 〇〇〇		
14:40~16:10	鼎談 『知多北部地域の現状と自立支援協議会』	山本讓司 清水剛一 神野規男 (東海市社会福祉課統括主幹)
16:20	閉会あいさつ	

講師：山本讓司さん

1962年北海道札幌市生まれ。元衆議院議員。2000年に「秘書給与詐欺事件」で懲役1年6ヶ月の実刑判決を受け服役。獄中生活を綴った手記「獄窓記」が新潮ドキュメント賞を受賞。

2006年、犯罪を繰り返さざるを得ない障害者の実態を描いた「累犯障害者」を出版。現在執筆活動や講演活動のほか、PFI刑務所の計画立案・運営に携わり、厚生労働省「罪を犯した障害者の地域生活支援に関する研究」の研究員を務めている。



■□ 担当者のふりかえり □■

社会福祉法人憩の郷・愛光園が受託している2市2町自立支援協議会からの委託を受け、行ったフォーラムです。知多半島は、障害者支援の社会資源も豊富な地域で、県内といわず全国的にも「機能している自立支援協議会」が存在する稀な地域だといえます。このような資源を一般市民につないでいく役割を通じて、誰もが安心な地域生活を送れる社会づくりに貢献したいと思います。 (岡本一美)

知多市NPOアドバイザー事業（知多市委託）

期 間	2007年4月～2008年3月うち48日間
場 所	知多市市民活動センター
対 象	NPO、ボランティアに興味関心のある人、活動の中で課題を持つ人 など
相談件数	179件

東海市NPOアドバイザー事業（東海市委託）

期 間	2007年4月～2008年3月うち31日間
場 所	東海市市民活動センター
対 象	NPO、ボランティアに興味関心のある人、活動の中で課題を持つ人 など
相談件数	41件

一宮市NPOアドバイザー事業（一宮市委託）

期 間	2007年4月～2008年3月うち11日間
場 所	一宮市市民活動センター
対 象	NPO、ボランティアに興味関心のある人、活動の中で課題を持つ人 など
相談件数	17件

サポートちた相談支援

期 間	2007年4月～2008年3月 随時
場 所	知多市市民活動センター
対 象	NPO法人・NPO任意団体・行政・企業・個人・その他どなたからでも

ほとんどの相談はアドバイス等の結果、時間内に解決しています。その場で解決できなかった相談については、後日資料を送ったり、手引きを渡したりします。また、その相談内容に応えられる人材や組織を紹介して、相談者に合った対応をしています。

■□担当者のふりかえり□■

「ニーズに応じて3千里」とは、誰が言ったか、この相談事業から地域のニーズを拾い、事業に反映させています。また、相談者がサポートちたのネットワークをさらに広げてくれたりもします。サポートちたの相談事業の強みは、このネットワークであり、つながることで解決の道に近づくNPOの世界を実感させてもらっています。定期相談以外に随時、団体が必要なときに対応する枠組みも好評です。

(岡本一美)

知多市市民活動センター1周年記念講演

つながるチカラがまちを育てる ～わたしたちの大事な場所づくり～



期 間 2008年1月19日(土)

場 所 知多市市民活動センター2階 会議室

対 象 どなたでも

参加者 34人

従事者 2人

市民活動センター1周年の記念事業の一つとして、NPO法人せんだいみやぎNPOセンター代表理事・日本NPOセンター理事等を務める加藤哲夫さんを講師として迎え、講演会を行った。

近頃よく耳にする「協働」がなぜ必要なのか。「公共施設の市民運営」という具体的な協働事業の事例を通して、わたしたちの力が育ち、まちが育っていく姿を明快な語り口で解説してもらいました。

*講師 加藤哲夫さん

NPO法人せんだいみやぎNPOセンター代表理事・日本NPOセンター理事ほか。1995年ごろから新しい市民社会のシステムづくりに取り組み、1997年せんだいみやぎNPOセンター設立、1999年から仙台市市民活動サポートセンターの管理運営業務を受託。自分たちの責任でその場をつくっていくという「市民的公共性」を提唱している。



■□担当者のふりかえり□■

県内の公設センター関係者がたくさん集まってくれました。公共施設の運営を私たち市民の手で行うことで、市民同士の育ちあいが生まれることを実感しています。「公共」の考え方、整理の仕方がすっかり明解な加藤さんでした。(岡本一美)

◆参加者の声◆

- ・しっかりとした理念や方向性、目標を持って支援センターを運営することの重要性を再認識しました。
- ・NPOとしてのミッションをもう一度見つめなおそうと思いました。
- ・積極的な参画を促すための自覚、自発性の仕掛け、アイデアがかなり重要だとわかった。
- ・地域の人が巻き込まれているのが地域のNPO団体であるというとても基本的なことに気づいた。
- ・まずは人の交流のある「広場をつくる」という意識で、センターでの業務を行いたいです。
- ・実績に基づいた話は、地域活動のあり方に不安を感じている私には力強く感じられ、パワーをいただきました。
- ・課題解決、問題解決のためにどのような取り組みが必要なのかを提示していく事の大切さを改めて考える時間になりました。

知多市市民活動センター1周年記念ウィーク

みんなが受けたい授業 ～NPO編～



期 間	2008年1月25日(金)
場 所	知多市市民活動センター2階 会議室
対 象	どなたでも
参加者	22人
従事者	2人

NPO マネジメントセミナー番外編として、行政が NPO や、NPO との協働と言い出したり、支援センターを作ってきた目的はなんだったのかといった疑問にお答えしながら、近頃話題の「協働」を、この道ベテランの行政職員の方々がコーディネーターを交え車座で語り合いました。

テーマ:NPO の可能性と未来

ゲスト:太田美代子(愛知県)、伊藤肇(日進市)、川合信嘉(一宮市)、岩田光寿(知多市)

◆ 参加者の声 ◆

- ・ 行政の中に NPO を理解している人が少ない現状に驚いた。
- ・ やはり NPO なくして行政はやっていけないのではないかと思う。
- ・ NPO と行政の“協働”、言葉ありきになってしまっているが、協働したほうが良いことと悪いこと、見極めが大切だと気づいた。
- ・ NPO は役所の下請けにならないように。
- ・ 「協働」という言葉の意味の取り方は十人十色だということを知った。

この他にも、センター1周年記念ウィークとして、1月19～27日の間に様々なイベントが行われました。

- ◆ 「ゆい工房」がやってくる～さをり織り体験～ (NPO 法人ゆいの会)
- ◆ デイサービスってこんなところ (NPO 法人だいこんの花)
- ◆ スマイル体操で元気に! (NPO 法人あゆみ)

など



■ □ 担当者のふりかえり □ ■

行政職員が語る NPO、協働ということで、何が生まれてくるかとても楽しみでした。今井事務局長の軽快なコーディネートの上に、4人のゲストが忌憚なく語ってくれた「協働」。参加者も県内各地域から来てくれました。会員3団体のイベントは、それぞれの活動を紹介し、参加を呼びかける楽しい催しでした。2周年に向けて今から準備に余念がない! ? (岡本一美)

～手づくりカフェ～A d a - c o d a



期 間 2007年4月～2008年3月

場 所 知多市市民活動センター 交流室

内 容 ・カフェ事業の運営、企画
・教室事業の運営、企画

来所者数 5,100人

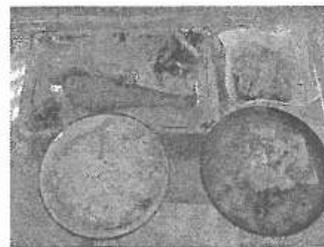
従事者 30人



☆☆ 新人シェフ紹介 ☆☆

「たんぽぽ」

2007年2月19日海山氏のワンデイシェフ講演会で顔を合わせた三人組です。個々の生活パターンはバラバラです。ただ共通点は料理好きってだけ。忙しい中でもお互いのスケジュールを合わせ、月1回頑張っています。



「ひふみ」

地産地消を目指して頑張っているグループさんです。種子島出身のリーダーと鹿児島出身のおかあさんを中心に、南国テイストの料理が自慢です。喜んでくれるからといって、残った食材や材料を知り合いの高齢宅へ配達したりして、ここを上手に利用してくれています。

「ALICE」

市センターに移り、約1年ほどお休みされていましたが、子どもの入園等生活の変化・安定に伴い、再度登場！！

NPO法人「だいこん」の調理担当されているためか、若いけどおふくろの味といったところです。体にやさしいのがうれしいですね。



■□担当者のふりかえり□■

昨年につき、来客数平均20人/日と安定しています。また、シェフの年齢層が広がってきました。ただ長期休暇になると、どうしても休みにせざるを得ないのが現状、主力として子育て中のママさんが多く活躍しているからです。そこで、夏休みの試みとして、NPO法人「ばお」さん主催で「子どもレストラン」を開いてもらったところ大盛況に終えることができました。また、新しい広報のやり方として、「教室事業」を勧めてきました。通り一遍の営業体制だけでは新しい客層を取り込んでいけなくなるため、『仕掛け』でつながっていく方法をとっていきたいです。

(市野めぐみ)

5月のイベント

お花の講習会のご案内

—— 満ちました ——

心のこもった手作りのプリザーブドフラワーアレンジを
母の日にプレゼントしてみませんか？

※講習後は、おいしい手作りのパンランチを囲んで
楽しいひとときを過ごしましょう。

講習内容 プリザーブドフラワーを使ってギフトアレンジを作成
と
手作りパンランチ(デザート、飲み物 付)

日時 5月9日(水) 10時～

場所 知多市市民活動センター 2階会議室

費用 4500円(お花材料、ランチ代込み)

持ち物 万能はさみ、新聞紙

講師 『花のあとえ 花音』 小島理依

ランチシェフ 『レモンガラス』 望月久美

【お申し込み・お問い合わせ】
TEL: 0562-33-1631(受付時間10時～18時)
FAX: 0562-33-1743

※イメージはこんな感じ。多少異なります。
【お申し込み・お問い合わせ】 TEL: 0562-33-1743

©2004 Ade-coda. All Right Reserved.

夏休みの思い出に

リース講習会のご案内

楽しい夏休みの思い出の一つに
リース作りはいかがですか？

創意工夫をこらして
自分だけの素敵なリースができますよ！

リースをつくった後は、あーだこーだのシェフのおいしい手作りランチを囲
んでランチタイムを楽しんでください。

親子で…お友達と…楽しい夏休みのひとときを一緒に過ごしませんか？

内容 木の葉などをつかってカントリー風なリースを作成
& 手作りパンランチ(デザート、飲み物付)

日時 7月25日(水)10時半～

場所 知多市市民活動センター 2階会議室

費用 リース1つ作成につき1000円
ランチ850円(飲み物、デザート付)
お子様ランチ800円

持ち物 万能はさみ、新聞紙
持ち帰り用の袋

講師 『花のあとえ 花音』 小島理依

ランチシェフ 『レモンガラス』 望月久美

★ ★ ★

プリザーブドフラワー 講座

日時 2007年 12月 5日(木)
【A】11:30～ ……定員10名
【B】12:30～ ……定員10名
※個別にてお申し込み。

場 所 知多市市民活動センター 1F 交流室(Ade-coda)

内 容 Ade-codaのワンダージェン・レモンガラスの手づくりパンランチ
(デザート＆オールドファッションコーヒー)による昼食後、プリザーブ
ドフラワーのリース講習を行います。

講 師 『花のあとえ 花音』 小島理依

料 金 4,000円(食事・花材込)

その他 定員はあります。

【お申し込み・お問い合わせ】
TEL: 0562-33-1631(受付時間10時～18時)
FAX: 0562-33-1743

★ ★ ★

プリザーブドフラワー 講座

お正月飾りをプリザーブドフラワーで作ります。
「しめ縄の壁掛けタイプ」、「アレンジの卓上タイプ」
2種から選んでください。(当日)

日時 2007年 12月 17日(月) 10:30～13:00

場所 知多市市民活動センター 2F 会議室1

料金 しめ縄 …… 3,500円
(花材代) アレンジ …… 3,000円

その他 当講座にはランチがついておりません。
ワンダージェン『レモンガラス』の手づくりパン等を、1F Ade-coda
にて販売します。
是非ご利用ください。

【お申し込み・お問い合わせ】
TEL: 0562-33-1631(受付時間10時～18時)
FAX: 0562-33-1743

担当: 市野

★ ★ ★

コサージュ

ハレの日… お好きな花あわせで
あなただけのオリジナルを手づくりしませんか？

日時 ● 2月 25日(月) 10:30～12:00
● 3月 9日(日) 10:30～12:00

場所 知多市市民活動センター

人数 各回 20名づつ (先着順)

参加費 コサージュ1個につき 2,000円 (手づくり菓子のお土産付)

持ち物 万能はさみ、新聞紙(見開き1枚分)

★ デザイン・花の種類等 多少異なります。Ade-codaで見本展示しています ★

2月25日 前田名緒子 (nicola flowers)

3月9日 小島理依 (花のあとえ 花音)

【お申し込み・お問い合わせ】
TEL: 0562-33-1631(受付時間10時～18時)
FAX: 0562-33-1743

★ ★ ★

春休み！子ども教室

人気のプリザーブドフラワーを使って
とても可愛い「フラワーケーキ」を作ります。
初めての人にもピッタリです！

日時 2008年 3月 28日(金) 10:00～12:00

場所 知多市市民活動センター 2F 会議室2

対象 小学生以上

定員 15名(先着順)

材料費 2000円/個

持ち物 工作用はさみ、新聞紙1枚

講師 小島理依(花のあとえ 花音)

【お申し込み・お問い合わせ】
TEL: 0562-33-1631(受付時間10時～18時)
FAX: 0562-33-1743

担当: 市野

知多市・運動クラブ「ふいっと」

期 間 2007年4月～2008年3月

場 所 知多市市民体育館

対 象 知的障害のある子どもと
サポートしてくれるボランティア

参加者 子ども 159人
ボランティア 173人

従事者 2人



運動クラブ「ふいっと」は、知的障害のある子どもたちが運動を通して、地域の人たちとの関わりを深めることを目的に平成14年から始まった活動で、平成16年に知多地域障害者支援センターらいふからサポートチームに運営を移行されました。

「ふいっと」という名称は、障害のある本人さんたちにフィットする活動と、フィットネスということからつけています。クラブでは子どもたちとボランティアさんが1対1で関わる事を基本として、障害のある子どもでもわかりやすいようなプログラムを組んでいます。音楽に合わせて体を動かしたり、ボール・フラフープなど使って運動したりと、日頃の運動不足を解消できる楽しい時間となっています。

◆ 活動内容 ◆

◇ 定例会

(4/7.5/12.6/2.7/7.9/8.10/6.11/3.12/22.1/26.3/8)

『ふいっと』当日の動き

9:20～	○ボランティアさん知多市民体育館 (卓球・剣道場)集合・準備運動
9:50～	○利用者さん集合・受付・利用者さん とボランティアさんの顔合わせ
10:00～	○『ふいっと』開始
11:30～	○『ふいっと』終了・ボランティアさん 感想用紙記入・反省会
12:00～	○解散



インストラクター：大須賀達子

コーディネート：知多地域障害者生活支援センターらいふ

主なボランティア：日本福祉大学のサークル「どんぐりの家」を中心にした大学生

知多市総合ボランティアセンター登録ボランティア

他

◇ 会員・保護者・ボランティア交流会 会場：知多市市民活動センター 2階会議室1・2

日 ち	行 事 名	内 容
7月7日	全体交流会	Ada-coda シェフによるランチ 自己紹介 ビンゴゲーム
12月22日	クリスマス会	保護者手づくりランチ ビンゴゲーム サンタからのプレゼント
3月8日	ボランティア交流会	情報交換 学生ボランティアの卒業祝い



◇ あいちモリコロ基金「初期活動」助成

- ボランティア勉強会の企画
- 行動援護従業者養成研修参加

ボランティア感想

笑顔に癒されました。毎回、元気いっぱいに走ったり跳ねたり動き回るので、一緒にいてとても楽しいです。

ペアになった子だけでなく、どの子もみんな元気でとても楽しかったです。また参加させてください。

初めて一対一の活動でした。一人だけだと「どうしよう」と思うこともありましたが、だんだん仲良くなれ充実した時間を過ごせました。



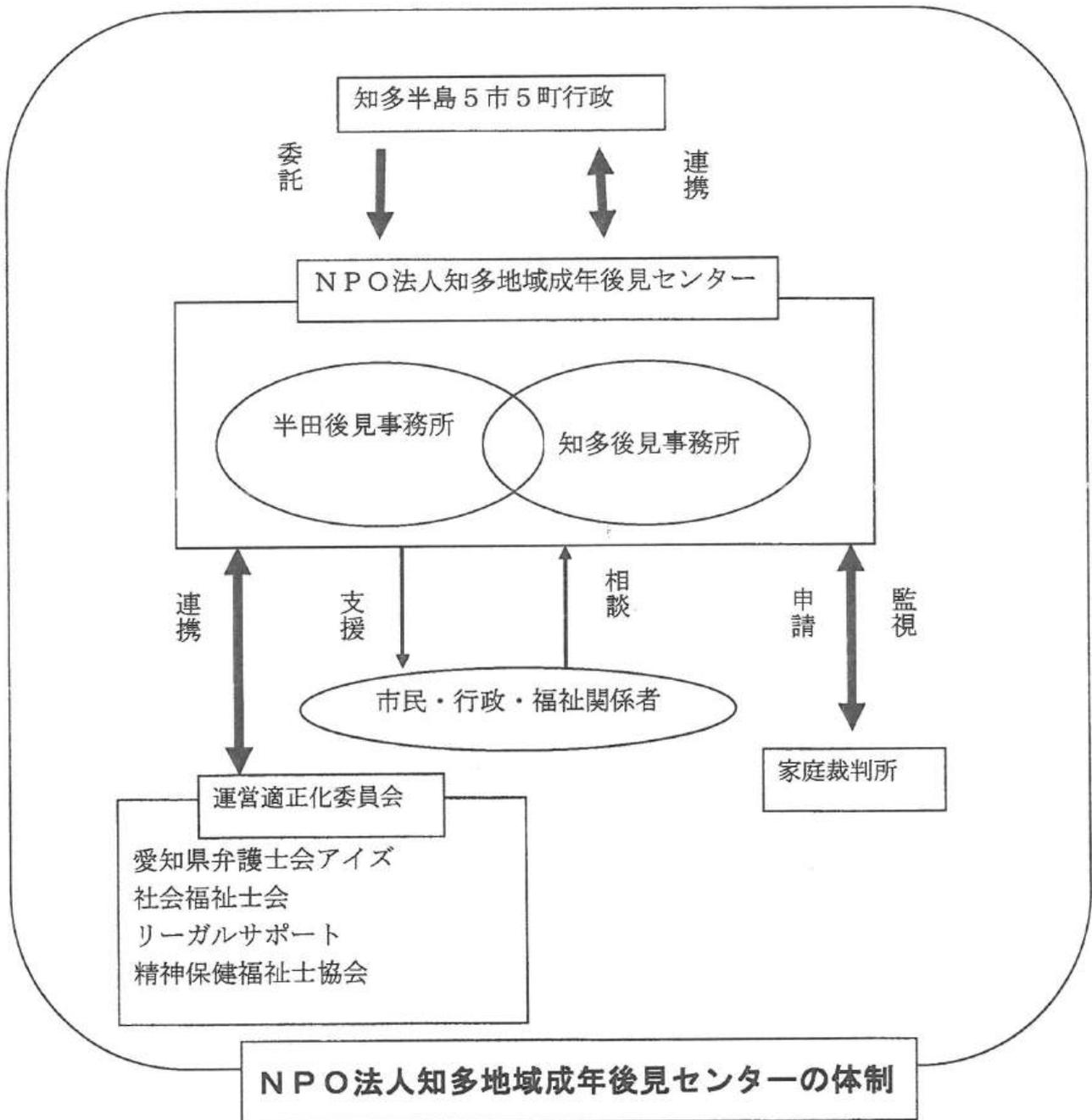
■□担当者のふりかえり□■

今年度は初めてクリスマス会を企画し、交流の機会が増えているおかげで、とても和んだ雰囲気楽しい時間になりました。保護者の方から、「月1回の“ふいっと”を子どもたちが楽しみにしている」という声を聞くとうれしい気持ちになります。
(五十嵐美代子)

VII 成年後見事業

平成 16 年 7 月に、地域福祉サポートちたは家庭裁判所より知的障害のある方の法人保佐人として選任され、それ以後も様々な活動をしてきました。今年度は複数の障害のある方の法人後見人として選任されました。また、春日井市、東海市、蒲郡市、西尾市、三好町、埼玉では、成年後見制度の学習会講師として今井事務局長が招かれ、この経緯を話す機会がありました。福井県、富山県からも成年後見に関して視察に来られました。

今年度は、成年後見事業にとっては画期的な 1 年になりました。昨年 3 月に、行政職員と NPO 関係者約 40 名で岐阜県多治見市にある NPO 法人東濃成年後見センターへ成年後見制度の事業委託に関する視察を行ったのを皮切りに急速に、行政の成年後見に対しての対策が模索され始めました。折りしも同時期、サポートちたと半田市社会福祉協議会の間で知多半島全体の成年後見の今後を考える機会を持っていました。



19年度、知多半島5市5町（大府市、東海市、知多市、半田市、常滑市、東浦町、阿久比町、武豊町、美浜町、南知多町）の行政が話し合いを重ねた結果、成年後見利用促進事業をNPO法人知多地域成年後見センターに委託をすることが決定しました。

NPO法人知多地域成年後見センターとは、半田市社会福祉協議会と地域福祉サポートちたが協働で作上げたNPO法人です。この法人はNPO法人と社会福祉協議会が人を出し合って作った全国でも珍しいNPO法人です。このことにより、サポートちたが5年近く法人後見に取り組んできたことが行政支援を受け財源確保となり、低所得の人の後見に取り組むことが可能な仕組みにつながったと思われます。

今後の課題は、確実に増えていく成年後見制度利用者に対して、受任できる人が少ないことです。この法人にとっても、法人後見の受け皿になるばかりでなく、受任できる人材を育成することが急務となっています。

知多地域成年後見センターの概要

- 1、支援員2名、事務員2名の4名体制
- 2、半田市、知多市の2箇所拠点

知多地域成年後見センターの事業内容

- 1、法人後見
- 2、相談支援
 - ① 成年後見制度に関する相談全般（事務所にて随時相談可能、毎月巡回相談あり）
 - ② 成年後見申し立て支援（申立書作成支援）
 - ③ 専門家などへの紹介
 - ④ 関係機関とのカンファレンスへの参加
- 3、普及啓発
 - ① 成年後見人など養成講座開催
 - ② 成年後見制度普及啓発研修
（行政関係者、施設関係者、金融関係者、当事者団体など）

19年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告(案)

「特定非営利活動事業」

事業項目/事業名	事業内容	受益対象者	実施場所/時期
I 人材養成・研修事業			
(1)ヘルパー養成講座	安心と豊かさの実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成 県の認定に準じたカリキュラムの実施		
① 2級ヘルパー養成研修講座	ホームヘルパー養成	会員・大学生・高校生・一般市民 133人	知多市市民活動センター(知多市)/年1回・ NPO法人りんりん(半田市)/年1回・日本福祉大学美浜キャンパス(美浜町)/年2回・ NPO法人さんさんガーデン(一宮市)/年1回
② ガイドヘルパー養成研修講座 (視覚・全身性障害者課程)	ガイドヘルパー養成	会員・学生・一般市民 20人	日本福祉大学美浜キャンパス(美浜町)/年1回
③ ガイドヘルパー養成研修講座 (行動援護従業者養成研修課程)	ガイドヘルパー養成	会員・学生・一般市民 138人	知多市市民活動センター/年6回
④ 介護福祉士対策講座	介護福祉士受験の筆記試験と 実技試験に対する対策講座	会員・学生・一般市民 14人	知多市市民活動センター/年1回
(2)NPO人材育成	NPOについて市民をはじめ、行政・企業の人々に学びときっかけ、実践の機会の場提供 また、団体設立、運営にかかわるリーダー、スタッフの育成		
① NPOマネジメントセミナー	NPO組織運営、事業経営に関する 入門講座	NPO従事者・一般市民 117人	知多市市民活動センター/10回
② 地域協働促進事業 (愛知県委託)	行政職員を対象に、協働の意義と 必要性を理解するための研修	一般市民 179人	一宮市・長久手町・一色町・知多市・ 田原市/10～12月(1日×5市)
③ 一宮市NPO講座 「NPOサポーター養成講座」 (一宮市委託)	駅なかの「市民活動支援センター」 を仮想的に取り上げ、関わり方や あり方を考えながら、地域づくりに 後見するサポーターを育む講座	一般市民 108人	一宮市/10～11月(6日間)
④ 大府市NPO講座「青春大学」 (大府市委託)	団塊の世代を中心に地域活動 の担い手を育成する講座	一般市民 多数	大府市/11～12月(5日間)
⑤ すっきりわかるNPO入門講座 (知多市委託)	NPOの入門講座	一般市民 9人	知多市市民活動センター/8～3月 (8日間)
⑥ インターン受け入れ	NPOへの理解促進、就業体験 愛知県職員の研修(7～1月 115日) 大府市職員の研修(9～10月 10日) 日本福祉大学生(9月 10日) 名古屋短期大学生(2～3月 20日)	学生4人 職員14人	知多市市民活動センター
⑦ 名古屋短期大学講義	ボランティアとは何かをテーマに社会 のあり方や生き方について考えを深め るための講義「ボランティアワーク」に 講師派遣	学生 多数	名古屋短期大学(豊明市)/4～9月

⑧ 日本福祉大学講義	ボランティアとは何かをテーマに社会のあり方や生き方について考えを深めるための講義「ボランティア論」に講師派遣	学生 多数	日本福祉大学美浜キャンパス/9～1月
⑨ 団塊世代キャリア活用事業「大人の学校」(知多市委託)	団塊の世代を中心に地域活動の担い手を育成する講座	一般市民 45人	知多市市民活動センター/7～3月
⑩ 大学・行政・各種団体へ講師派遣	市民活動やまちづくりに関する講演・講義などの講師	一般市民 多数	全国 通年
(3)NPO現場見学バスツアー	市民活動の自発活動、草の根の活動の現場を知り、NPOを理解するという観点からNPOの現場を訪問し、現場を体感し、学習する研修バスツアー		
① 通常バスツアー	定期的に行う見学ツアー(26人用・8人用)	会員・学生・一般市民 118人	知多半島のNPO組織/年12回
② オプションバスツアー	希望に応じてプランを作成するオプション見学ツアー	会員・学生・一般市民 314人	知多半島のNPO組織/年17回
(4)成年後見サポーター養成講座	成年後見制度にかかわる社会背景と法律、後見業務の実態を理解したサポーターの養成講座	会員・学生・一般市民 70人	知多市市民活動センター/年2回(4～5月、12月)
II 情報・交流促進事業			
(1) 会報発行	ニュースレター「SUPPORT NEWS」の発行	会員・学生・一般市民 多数	本法人事務所/年6回
(2) 情報交流スペース提供	各会員等の広報誌やイベント案内チラシ等を掲示し、広報する	会員・学生・一般市民 多数	知多市市民活動センター/通年
(3) WEBサイト管理	本法人ホームページの管理、情報提供	会員・学生・一般市民 多数	本法人事務所/通年
(4) 会員交流会	本法人会員交流会の開催	会員 多数	知多市市民活動センター/5月25日
III 調査研究・提言事業			
(1) NPOと行政の協議の場作り事業(愛知県委託)	NPOと行政が地域課題について実際に協議し、協議の場の運営上の問題を整理し、適正な設置・運営方法をまとめる	NPO従事者 10人	あいちNPO交流プラザ/10～3月
IV 啓蒙啓発相談事業			
(1) 知多市NPOアドバイザー事業(知多市委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 多数	知多市市民活動センター/年47回

(2) 東海市NPOアドバイザー事業(東海市委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 多数	東海市市民活動センター/ 定期相談12回・随時相談23回
(3) 一宮市NPOアドバイザー事業(一宮市委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 多数	一宮市市民活動センター/年11回
(4) NPO法人設立・運営相談	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 多数	本法人事務所/通年
(5) 行政訪問	知多半島5市5町の行政機関訪問	知多半島内の行政機関	知多半島内 随時
(6) 第10回知多市福祉・健康フェスティバル参加	第35回知多市産業まつりと同時開催された第10回福祉・健康フェスティバルにブース出展。団体概要や活動内容の掲示、各種チラシ・パンフレットなどを配布。	一般市民 多数	知多市市民体育館/10月27・28日
(7) 各種検討会等委員派遣	まちづくり活動支援事業審査会等へ参加	一般市民 多数	通年
(8) 知多半島安心安全なまちづくりフォーラム	安心安全なまちづくりとはなにか、成年後見利用の現状から考える	一般市民 147人	あいち健康プラザ プラザホール /8月31日
(9) 2市2町自立支援協議会啓発フォーラム	地域自立支援協議会を活用してもらうための基調講演と報告	一般市民 160人	東海市しあわせ村 多目的ホール /3月15日

V 市民活動支援事業

(1) サロン	市民カフェ「Ada-coda(あーだ・こーだ)」の運営(実践現場)	一般市民 多数	知多市市民活動センター/通年
(2) 知多市・運動クラブ「ふいっと」	障害のある子どもたちが運動を通じて、地域の人々との関わりを深める活動の運営	知的障害のある児童・学生・一般市民	知多市市民体育館/通年
(3) 知多市市民活動センター1周年記念事業(知多市委託)	知多市市民活動センターの1周年を記念して、後援会とNPOについての授業を実施		
① 1周年記念講演	「公共施設の市民運営」という具体的な事例を通して協働の必要性を説く講演	一般市民 34人	知多市市民活動センター/1月19日
② みんなが受けたい授業～NPO編～	NPOマネジメントセミナー番外編。「協働」をテーマに行政職員とコーディネーターが車座で語り合う	一般市民 22人	知多市市民活動センター/1月25日

VI 知多市市民活動センター支援事業

(1) 知多市市民活動センター施設管理(休日・夜間)/清掃業務(知多市委託)	知多市市民活動センターの土日・夜間の管理及び、館内清掃業務	一般市民 多数	知多市市民活動センター/通年
--	-------------------------------	---------	----------------

Ⅶ 成年後見事業			
(1) 成年後見事業	判断能力が不十分な人々の成年後見制度の利用支援	成年被後見人数名	本法人事務所/通年
Ⅷ 会議関係			
(1) 通常総会	定款の定めるところによる通常総会開催	会員	知多市市民活動センター/年1回(5月25日)
(2) 常務理事会	定款の定めるところによる常務理事会開催	常務理事	知多市市民活動センター/年1回(12月21日)
(3) 理事会	定款の定めるところによる理事会開催	理事	知多市市民活動センター/年6回(5月17日、7月19日、9月20日、11月15日、1月17日、3月21日)

「人材派遣内容」

派遣先	事業内容
(1) 大学講師派遣	愛知県内の大学への講師派遣
1. 名古屋短期大学	「ボランティアワーク」
2. 日本福祉大学	「ボランティア論」
3. あいちシルバーカレッジ	「地域社会とNPO」
(2) 行政・各種団体へ講師派遣	演題・講座名
1. 春日井女性連絡会	「私の生き方とライフワークバランス」
2. 地域の課題とNPO	
3. 福井県	コミュニティビジネス講演
4. 三好町職員研修	「協働によるまちづくり推進管理職研修」
5. 仙台福祉系NPO法人有志	「ネットワークづくり」
6. らいふ光の里保護者会	「ミッションについてもう一度見直す」
7. 女性グループリーダー研修(ウィルあいち)	
8. 三好町	「市民が創るまちづくり」
9. 平塚市	「地域課題の発見」
10. 高森町福祉の集い	講演「地域で何ができるか？」調査報告
11. デンソー阿久比製作所職員研修	「ボランティア活動と地域」
12. 豊田市生涯学習課	
13. 春日井市バリアフリーの会	成年後見連続講座講師

14. 七宝町	子育て支援団体人材育成講座講師
15. 東海市成年後見講演	成年後見啓発講師
16. 県班長研修	NPOについての研修ファシリテーター
17. くずの木福祉事業会講演会(蒲郡市)	成年後見について
18. 市民講座遺言 知多市市民協働提案事業	成年後見啓発チラシ作成
19. 三好町成年後見講演 三好町育成会	成年後見について
20. NPO研究会	市民活動センター委託について
21. 扶桑町	まちづくりに関する住民の集いのファシリテーター
22. 起業支援ネット(福井)	コミュニティービジネス講座講師
23. パブリック塾	支援センターの役割りと課題
24. 富山育成会	成年後見について
25. 起業支援ネット(岡山)	コミュニティービジネス講座講師
26. 埼玉県手をつなぐ育成会大会	成年後見
27. 東海市退職者のためのシニアプランセミナー	
28. 精神保健福祉ボランティア「あんだんて」知多市	成年後見知多市の現状
29. 西尾市手をつなぐ育成会	成年後見のはなし
30. ファシリテーター養成講座(伊丹)	ファシリテーター事例の講演
(3) 各種検討委員会等委員派遣	
1. 全国ボランティアフェスティバル実行委員会	19. ネットワークフォーラム(すけっとファミリー)
2. まちづくり活動支援事業審査委員	20. まちづくり条例検討委員会(知多市)
3. 生協福祉基金制度検討委員	21. 女性チャレンジネットワーク会議(県)
4. 公益信託ぎふNPOはつらつファンド運営委員	22. 瀬戸助成金報告会
5. MOMO(コミュニティーユースバンク)融資審査、顧問	23. 愛知県中高生の居場所事業検討委員
6. さわやか福祉財団東海ブロックリーダー	
7. 長久手町地域協働計画策定委員	
8. 知多中央放送K,K(コミュニティーFM放送)半田市 番組審議委員	
9. NPOと行政の協働に関する実務者会議	
10. 知多市民活動センター運営会議	
11. 2市2町障害者自立支援協議会	
12. あいち協働ルールブックフォーラム	
13. テーマ別意見交換会(県)	
14. 包括セミナー実行委員会	
15. 科学技術振興会研修会	
16. 知多市NPOネットワーク会議	
17. NPO岡崎フェスティバル	
18. 福祉たすけあいフォーラム(あいち福祉ネット)	

19 年度決算報告



- 収支計算書
- 貸借対照表
- 財産目録
- 監査報告書

平成19年度
特定非営利活動事業会計 収支計算書

平成19年4月1日 から 平成20年3月31日 まで

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目	金 額		備 考
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
1) 入会金収入	65,000		
2) 年会費収入	789,000		
		854,000	正会員665,000 準会員99,000拠点会員25,000
2 事業収入			
1) ヘルパー養成事業収入	12,763,700		詳細は事業報告書参照
2) NPO人材養成事業収入	4,716,161		詳細は事業報告書参照
3) バスツアー収入	1,774,600		詳細は事業報告書参照
4) 情報交流促進事業収入	0		詳細は事業報告書参照
5) 調査研究提案事業収入	1,295,956		詳細は事業報告書参照
6) 市民活動支援事業収入	3,539,350		詳細は事業報告書参照
7) 啓蒙啓発相談事業収入	1,895,370		詳細は事業報告書参照
8) 市民活動センター委託事業収入	7,067,550		詳細は事業報告書参照
事業収入合計		33,052,687	
3 補助金等収入			
1) 国・地方補助金収入	209,000		ふいつと活動補助金(知多市)
2) 民間補助金収入			
補助金収入合計		209,000	
4 寄付金収入			
1) 一般寄付金収入	55,770		
2) その他寄付金収入			
補助金収入合計		55,770	
5 雑収入			
1) 受取利息配当金	5,942		
2) 雑収入	60,416		プロジェクター使用料・資料印刷代等
補助金収入合計		66,358	
経常収入合計		34,237,815	
II 経常支出の部			
1 事業費			
1) ヘルパー養成事業費	11,291,288		詳細は事業報告書参照
2) NPO人材養成事業費	3,199,940		詳細は事業報告書参照
3) バスツアー事業費	1,593,036		詳細は事業報告書参照
4) 情報交流促進事業費	684,367		詳細は事業報告書参照
5) 調査研究提案事業費	764,991		詳細は事業報告書参照
6) 市民活動支援事業費	4,298,164		詳細は事業報告書参照
7) 啓蒙啓発相談事業費	1,538,000		詳細は事業報告書参照
8) 市民活動センター委託事業費	7,064,832		詳細は事業報告書参照
事業費合計		30,434,618	
2 管理費			
1) 役員報酬			
2) 給与手当	1,700,000		
3) 法定福利費	25,919		社会保険料・労働保険料
4) 福利厚生費	27,415		管理部門通勤費等
5) 旅費交通費	3,400		研修時交通費
6) 通信運搬費	12,300		電話代(NTT/日本テレコム)
7) 保険料	4,137		業務保険・動産保険
8) 修繕費	41,055		パソコン修理代
9) 消耗品費	28,593		印鑑・コピー用紙・合鍵・お茶ets

10) 租税公課	841,700		消費税・法人住民税・印紙税
11) 施設利用料	3,408		理事会会場費・市民活動センター使用料
12) 支払手数料	8,725		税理士・社労士報酬
13) 諸会費	71,000		団体年会費
14) 新聞図書費	48,960		日経新聞等
15) 会議費	84,200		ミーティング費用
16) リース料	11,286		コピー機・電話機リース料
17) 雑費	3,209		振込手数料等
管 理 費 合 計		2,915,307	
経 常 支 出 合 計			33,349,925
経 常 収 支 差 額			887,890
Ⅲ その他資金収入の部			
1 固定資産売却収入			
1) 什器備品売却収入			
2 繰入金収入			
1) 特別会計繰入金収入			
3 借入金収入			
1) 長期借入金収入			
そ の 他 資 金 収 入 合 計			0
Ⅳ その他資金支出の部			
1 固定資産取得支出			
1) 什器備品取得支出			
2 繰入金支出			
1) 特別会計繰入金支出			
3 借入金返済支出			
1) 長期借入金返済支出			
そ の 他 資 金 支 出 合 計			0
当 期 収 支 差 額			887,890
前 期 繰 越 収 支 差 額			5,328,685
次 期 繰 越 収 支 差 額			6,216,575
(正味財産増減の部)			
Ⅴ 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
1) 当期収支差額		887,890	
2) 固定資産受贈額			
2 負債減少額			
1) 長期借入金返済額			
増 加 額 合 計			887,890
Ⅵ 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
1) 固定資産売却額			
2) 固定資産除却額			
3) 減価償却額		117,402	
2 負債増加額			
1) 長期借入金増加額			
減 少 額 合 計			117,402
当 期 正 味 財 産 増 加 額			770,488
前 期 繰 越 正 味 財 産 額			5,813,613
正 味 財 産 合 計			6,584,101

平成19年度 部門別収支計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

科目	共通	ヘルパー養成	人材育成	バスツアー	情報交流	調査研究	市民活動支援	啓蒙啓発相談	市民活動センター分
I 經常収入									
会費収入	829,000						25,000		
事業収入	33,052,687	12,763,700	4,716,161	1,774,600	0	1,295,956	3,539,350	1,895,370	7,067,550
補助金収入	209,000						209,000		
寄付金収入	55,770						300		
受取利息	5,942								
雑収入	60,416	3,300							
合計①	34,237,815	12,767,000	4,716,161	1,774,600	0	1,295,956	3,773,650	1,895,370	7,067,550
II 經常支出									
給与手当	14,478,210	2,315,661	1,086,940	743,820	219,755	600,000	993,081	542,964	6,275,989
法定福利	863,963	302,387	120,955	43,198	25,919	25,919	25,919	112,315	181,432
福利厚生	913,828	319,840	127,935	45,691	27,415	27,415	118,798	27,415	191,904
講師料	5,605,443	4,510,891	691,993	0	0	0	95,500	307,059	0
旅費交通費	965,223	265,780	364,853	7,850	0	40,000	91,500	191,840	0
通信費	761,899	241,888	57,397	20,499	351,920	12,299	53,297	12,299	0
交際費	2,000	0	0	0	0	0	2,000	0	0
保険料	193,993	48,270	19,308	23,606	4,137	4,137	17,929	43,507	28,962
修繕費	41,055	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料	36,682	0	795	35,887	0	0	0	0	0
消耗費	992,544	333,582	172,883	47,655	28,593	28,593	123,902	28,593	200,150
租税公課	861,640	0	11,400	0	0	0	0	8,540	0
バス経費	612,299	0	36,350	575,949	0	0	0	0	0
施設利用料	568,964	128,686	53,633	10,180	3,408	3,408	183,141	159,248	23,852
支払手数料	290,850	101,798	40,719	14,543	8,725	8,725	37,811	8,725	61,079
諸会費	131,000	0	0	0	0	0	0	60,000	0
新聞図書費	85,240	0	36,280	0	0	0	0	0	0
会議費	205,497	43,821	5,856	0	0	0	50,620	21,000	0
リース料	376,196	131,669	52,667	18,810	11,286	11,286	48,905	11,286	79,001
研修費	58,000	0	58,000	0	0	0	0	0	0
予キスト	1,492,040	1,267,040	225,000	0	0	0	0	0	0
実習費	1,264,536	1,242,536	22,000	0	0	0	0	0	0
雑費	106,968	37,439	14,976	5,348	3,209	3,209	13,906	3,209	22,463
Ada-coda原価	2,441,855	0	0	0	0	0	2,441,855	0	0
合計②	33,349,925	2,915,307	3,199,940	1,593,036	684,367	764,991	4,298,164	1,538,900	7,064,832
①-②	887,890	-1,967,779	1,475,712	181,564	-684,367	530,965	-524,514	357,370	2,718

平成19年度
特定非営利活動事業会計 貸借対照表

平成20年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目 ・ 摘 要	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金	5,549,989	
仮払金	200,000	
前払費用	38,130	
未収入金	3,717,513	
流動資産合計		9,505,632
2 固定資産		
工具器具備品	3,116,178	
減価償却累計額	△ 2,918,362	197,816
電話加入権		86,590
固定資産合計		284,406
資産合計		9,790,038
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	2,727,625	
前受金	131,000	
預り金	347,312	
流動負債合計		3,205,937
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		3,205,937
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		5,813,613
当期正味財産増加額		770,488
正味財産合計		6,584,101
負債及び正味財産合計		9,790,038

注) 固定資産に関する減価償却計算の方法は、以下のとおり。

- | | |
|------------|------|
| 1 工具器具備品 | 定率法 |
| 2 小額減価償却資産 | 一括償却 |

平成19年度
特定非営利活動事業会計 財産目録

平成20年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目	摘 要	金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金		710,893		
普通預金	UFJ銀行 知多支店	4,009,221		
普通預金	UFJ銀行 知多支店	393,995		
普通預金	JA知多 新知支店	6,846		
普通預金	知多信用金庫 知多支店	64,296		
通常貯金	郵貯銀行	253,618		
振替用口座	郵貯銀行	111,120		
	現金預金合計		5,549,989	
仮払金				
	団塊世代キャリア活動事業活動資金		200,000	
前払費用				
	会議室等利用料19年度分		38,130	
未収入金				
	市民活動相談支援費 知多市	1,513,050		
	市民活動相談支援費 知多市	369,600		
	市民活動センター施設管理費	357,000		
	市民活動相談支援費 東海市	226,522		
	団塊世代キャリア活動支援費	884,841		
	市民活動センター施設管理費	166,500		
	ふいつと活動補助金 知多市	200,000		
	未収入金合計		3,717,513	
	流動資産合計			9,505,632
2 固定資産				
工具器具備品	別紙備品台帳		197,816	
電話加入権	0562-33-8658	41,790		
	0562-33-1631	44,800		
	電話加入権合計		86,590	
	固定資産合計			284,406
	資産合計			9,790,038

II 負債の部				
1 流動負債				
未払金				
3月分給与	1,283,025			
3月分通勤費	49,000			
ヘルパー2級実習費 58名分	406,200			
ヘルパー2級講師料 2名	385,000			
成年後見顧問弁護士報酬	60,000			
東海市アドバイザー講師料等	23,000			
大人の学校講師料	24,000			
当期確定消費税額	427,400			
当期確定住民税額	70,000			
未払金合計		2,727,625		
前受金				
20年度年会費前受金	131,000			
20年度入会金前受金	0			
前受金合計		131,000		
預り金				
源泉所得税	235,084			
社会保険料3月分	112,228			
預り金合計		347,312		
流動負債合計			3,205,937	
2 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				3,205,937
正味財産				6,584,101

20年度事業計画/予算



- 事業計画書
- 収支予算書

20年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業計画

「特定非営利活動事業」

事業項目／事業名	事業内容	受益対象者	実施場所／時期
I 人材養成・研修事業			
(1) ヘルパー養成講座	安心と豊かさの実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成 県の認定に基づいたカリキュラムの実施		
① 2級ヘルパー養成研修講座	ホームヘルパー養成	会員・学生・一般市民	知多市市民活動センター (知多市)/年1回、半田市1回、日本福祉大学美浜キャンパス(美浜町)/年1回
② ガイドヘルパー養成研修講座	ガイドヘルパー養成	会員・学生・一般市民	日本福祉大学美浜キャンパス(美浜町) /年1回
③ 行動援護従業者養成研修講座	行動援護従事者養成研修講座	会員・学生・一般市民	知多市市民活動センター/年2回、他2回
④ 介護福祉士対策講座	介護福祉士受験の筆記試験と実技試験にたいしての対策講座	会員・学生・一般市民	知多市市民活動センター/年1回
⑤ 東海市障害者の生涯学習	知的障害者のヘルパー3級講座	会員・学生・一般市民	知多市市民活動センター/年1回
(2) NPO人材育成	NPOについて市民をはじめ、行政・企業の人々に学びときっかけ、実践の機会の場提供。また、団体設立、運営にかかわるリーダー、スタッフの育成		
① すっきりわかるNPO(入門編)	NPO組織運営、事業経営等に関する入門研修	NPO従事者	知多市市民活動センター /10回
② マネジメントセミナー(実践編)	NPO組織運営、事業経営等を経験者から学ぶ研修	NPO従事者	知多市市民活動センター /10回
③ インターンシップ	日本福祉大学・愛知県職員・名古屋短期大学・大府市職員現場研修受け入れ	学生・県職員	知多市市民活動センター
④ 中間支援人材育成講座	中間支援としてのNPO支援	NPO団体・行政	県内
⑤ 知多市団塊の世代講座	団塊の世代を中心に地域活動の担い手を養成する講座	一般市民	知多市

⑥ 知多市市民活動企画支援	知多市市民活動センター2周年事業等	一般市民	知多市
⑦ 一宮NPO講座	想いを形にするNPO入門講座	一般市民	一宮市
(3) NPO現場見学バスツアー	市民活動の自発活動、草の根の活動の現場を知り、NPOを理解するという観点からNPOの現場を訪問し、現場を体感し、学習する研修バスツアー		
① 通常バスツアー	現場から学び、理解する。設立のきっかけを提供する。	会員・学生・一般市民	知多半島のNPO組織／年12回
② オプションバスツアー	まちの達人、県市町村研修センター研修、三好町など	会員・学生・一般市民	知多半島のNPO組織／随時
II 情報・交流事業			
(1) 広報誌・イベント案内チラシ等の掲示・設置	各会員等の広報誌やイベント案内チラシ等を掲示し、広報する。	会員・学生・一般市民	知多市市民活動センター／通年
(2) ホームページ管理	本法人ホームページの管理	会員・学生・一般市民	本法人事務所／通年
(3) 会報発行	ニュースレター「SUPPORT NEWS」の発行	会員・学生・一般市民	本法人事務所／年6回
(4) 会員交流会	サポートした会員間の情報交換	会員	知多市市民活動センター／7月、2月
(5) NPOと行政の意見交換会(知多半島版)	NPOと行政で課題を共有する意見交換会	NPO・行政	知多市市民活動センター
(6) NPOリーダー研修	介護現場の現状などをテーマにNPO代表者のワークショップ形式の研修	NPO代表者	軽井沢
III 調査研究・提言事業			
(1) 調査研究事業	知多半島福祉NPOを対象に事業調査	NPO団体	知多市市民活動センター

IV 啓蒙啓発事業			
(1) NPO法人設立・運営相談	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民	本法人事務所／通年
(2) NPOアドバイザー事業	NPO法人設立や運営に関してアドバイスを行い、NPOへの参加促進、組織の健全運営を目的とする事業	一般市民	東海市、知多市、一宮市
(3) 大学・行政・各種団体へ講師派遣	市民活動やまちづくりに関する講演・講義などの講師	全国	通年
V 市民活動支援事業			
(1) サロン	市民カフェ「Ada-coda(あーだ・こーだ)」の運営(実践現場)	市民一般	知多市市民活動センター／通年
(2) 知多市・運動クラブ「ふいっと」	障害のある子どもたちが運動を通じて、地域の人々との関わりを深める活動の運営	知多市在住の知的障害のある児童	知多市市民体育館／通年
(3) 会計支援(団体支援向け)	専門家支援の相談会	NPO団体	本法人事務所／通年
(4) 労務管理支援(団体支援向け)	専門家支援の相談会	NPO団体	本法人事務所／通年
(5) 福祉NPO事業サポート	情報交流と事業運営研修	NPO団体	本法人事務所／通年
(6) 出前講座	各団体に合わせたNPO組織運営、事業経営等に関する研修	一般市民	県内
VI 知多市市民活動センター支援事業			
(7) 市民活動センターの管理・運営	NPOや各種団体への活動支援、市民活動センターの清掃・夜間管理	一般市民	知多市市民活動センター

科目	予算案	備考
I 収入の部		
1 会費・入会金収入	100,000	10,000×6 5,000×8
入会金収入		
年会費収入	800,000	30,000×5 15,000×35 5,000×16 3,000×15
計	900,000	
2 事業収入		
1.人材養成研修事業	8,940,000	ヘルパー講座
福祉資格講座		
バスツアー	1,550,000	バスツアー
NPO人材育成	2,729,500	NPO人材育成
2.情報交流促進事業	100,000	交流会
3.調査研究・提言事業	100,000	
4.啓蒙啓発相談事業	818,000	NPOアドバイザー設置事業
5.市民活動支援事業	2,700,000	あーだ・こーだ
6.知多市市民活動センター支援事業	7,110,000	市民活動支援センター業務
計	24,047,500	
3 寄付金収入	200,000	
4 雑収入	200,000	
5 助成金	1,000,000	
当期収入合計	26,347,500	
II 支出の部		
1 事業費支出		
1.人材養成研修事業		
福祉資格講座	7,512,000	ヘルパー講座
バスツアー	850,000	バスツアー
NPO人材育成	1,500,000	NPO人材育成
2.情報交流促進事業	100,000	交流会
3.調査研究・提言事業	100,000	
4.啓蒙啓発相談事業	800,000	講師派遣・NPOアドバイザー
5.市民活動支援事業	2,700,000	あーだ・こーだ
6.知多市市民活動センター支援事業	7,000,000	知多市市民活動センター
計	20,562,000	
2 管理費		
人件費	2,500,000	事務局員
法定福利費	1,027,500	社会保険ほか
租税公課	700,000	
福利厚生費	70,000	通勤費
旅費交通費	30,000	
通信運搬費	100,000	
保険料	70,000	
消耗品費	150,000	事務用品、紙等
拠点利用料	108,000	
諸会費	80,000	団体加入年会費等
会議費	100,000	打ち合わせ、諸会議
研修費	100,000	スタッフ、役員研修
リース料	150,000	コピー機、ビジネスホン
支払手数料	100,000	
備品	100,000	
雑費	100,000	
計	5,485,500	
3 予備費	300,000	
当期支出合計	26,347,500	
当期収支差額	0	

平成 20 年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた役員名簿（案）

役職	氏名	所属
理事	松下典子	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 代表理事
理事	矢澤久子	特定非営利活動法人ネットワーク大府 理事長
理事	樋口禮子	特定非営利活動法人ゆいの会 代表理事
理事	村上眞喜子	特定非営利活動法人りんりん 理事長
理事	安井洋子	特定非営利活動法人もやい 代表理事
理事	市川美千代	特定非営利活動法人あゆみ 理事長
理事	竹田加津子	特定非営利活動法人あかり 代表理事
理事	田上光大	元愛知県職員
理事	出口 晋	特定非営利活動法人ゆめじろう 理事長
理事	村居多美子	特定非営利活動法人介護サービスさくら 理事長
理事	山本勝子	日本福祉大学知多半島総合研究所 所長代理
理事	榊原弘美	特定非営利活動法人菜の花 理事長
理事	三島知斗世	特定非営利活動法人ボランティアネイパーズ 研究調査部長
理事	市川幸夫	日本福祉大学 執行役員 財務担当
理事	今井友乃	特定非営利活動法人知多地域成年後見センター 事務局長
監事	山崎紀恵子	特定非営利活動法人絆 代表理事
監事	佐々木幸雄	特定非営利活動法人東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛 理事長

(順不同、敬称略)